

← 前ページへ

お問い合わせの際、ご確認、ご用意いただく情報が記載されております。
必ずご確認ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………… **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル…………… **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9599**
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。



<http://www.sony.jp/support/>

左記番号へ接続後、最初の
ガイダンスが流れている間に
「301」+「#」
を押してください。直接、
担当窓口へおつながります。

FAX (共通) **0120-333-389**

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



* 4 5 4 0 3 0 8 0 1 *

(1)

4-540-308-01(1)

©2014 Sony Corporation Printed in Malaysia

SONY®

デジタルメディア プレーヤー

取扱説明書



NW-A16/A17

準備／基本的な使いかた

音楽

ビデオ／写真

FMラジオ放送

ノイズキャンセリング機能

Bluetooth機能

アラーム／スリープタイマー

その他／困ったときは

インターネット上でヘルプガイドが閲覧できます
(パソコン・スマートフォン用)。閲覧は無料です
が通信料は通信契約に依存します。
<http://rd1.sony.net/help/dmp/nwa10/ja/>



警告 安全のために (📖 98 ~ 102 ページもあわせてお読みください。)

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。「取扱説明書」と「ヘルプガイド」には、事故を防ぐための重要な注意事項と本製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みのうえ、本製品を安全にご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のための注意事項を守る

「取扱説明書」と「ヘルプガイド」の注意事項をよくお読みください。

「取扱説明書」は、安全上の注意事項を記載しています。今回お買い上げの機器には当てはまらない内容も含まれています。

定期的に点検する

コネクタなどにほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、イヤープースがヘッドホンにしっかり取り付いているかななどを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本製品が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら

- ① パソコンと接続している場合は、USBケーブルまたはUSB端子を抜く。
- ② お買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理を依頼する。



警告表示の意味

取扱説明書および本製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



破裂



感電

行為を禁止する記号



禁止



接触禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示

マニュアルについて



紙で見る

本書(取扱説明書)

ウォークマン[®]を楽しむための情報を簡単に記載しています。



クイックスタートガイド～パソコンの設定
パソコンを使って音楽を取り込み／転送するまでの一連の流れを記載しています。



オーディオ機器などからの録音
ラジカセなどから直接曲を取り込むまでの一連の流れを記載しています。



パソコンで見る

「ヘルプガイド」や「重要なお知らせ」をご覧ください。

インストール方法について、詳しくは別紙「クイックスタートガイド」をご覧ください。



インターネットに
接続して見る



ヘルプガイド(📖 155 ページ)

パソコンを使ってウォークマンを楽しむ情報も含めた
詳細な情報や、困ったときの対処方法を記載していま
す。スマートフォンからも閲覧できます。

ウォークマンサポートのホームページ

トラブルの解決方法や接続機器の互換性情報、最新情
報を掲載しています。

Media Goヘルプ

Media Goの使いかたについて詳しく記載しています。

Content Transferヘルプ

Content Transferの使いかたについて詳しく記載して
います。

目次

はじめに	4
マニュアルについて	4
準備	11
同梱品を確かめる	11
ヘッドホンのイヤープースを交換する	12
充電する	13
パソコンにソフトウェアをインストールする	15
microSDカードを入れる	16
microSDカードを取り出す	19
microSDカードを初期化(フォーマット)する	22
音楽／ビデオ／写真などのコンテンツを転送する	23
日付と時刻を設定する	25
基本的な使いかた	26
各部の名前	26
HOLD(ホールド)を解除する	30
電源を入れる／切る	31

ホームメニューについて.....	32
保存するメモリーを切り替える	35
音楽.....	36
音楽を再生する	36
おすすめの音響設定で聞く	38
ハイレゾ音源を楽しむ	40
圧縮音源でハイレゾ感を楽しむ.....	42
再生方法を変える(プレイモード)	43
再生範囲を変える	44
再生速度を調整する.....	45
曲を削除する	46
ブックマークを使う	48
プレイリストの曲を再生する	51
カラオケ機能を使う	52
語学学習機能を使う.....	53
ダンス機能を使う.....	55
ビデオ／写真.....	57
ビデオ／写真を再生する	57
ビデオ／写真を削除する	59

FMラジオ放送	60
FMラジオ放送を聞く	60
自動で放送局を登録する	61
手動で放送局を登録する	62
登録した放送局を解除する	63
FMラジオの設定を変更する	63
ノイズキャンセリング機能	65
周囲の騒音を低減させて聞く	65
ノイズキャンセリングの設定を変更する	69
Bluetooth機能	71
Bluetooth機能とは	71
Bluetoothオーディオ機器で音声を聞く	72
ワンタッチ(NFC)で接続する	78
ファイルを送る／受け取る	80
Bluetooth状態アイコンについて	84
Bluetooth接続の使用上のご注意	85

アラーム／スリープタイマー	87
アラームを使う	87
スリープタイマーを使う	90
その他	91
ヘッドホンを選択する	91
スピーカーを選択する	93
スマートフォンにおすそわけ充電する	95
電池持続時間について	96
安全のために	98
使用上のご注意	103
本製品を廃棄するときのご注意	109
お手入れ	109
同梱のソフトウェアについてのご注意	110
主な仕様	111
ライセンスおよび商標について	125

困ったときは	128
困ったときは	128
症状から調べる	129
ウォークマンのメモリーを初期化(フォーマット)するには.....	154
ヘルプガイドで調べる	155
サポートホームページで調べる	156
保証書とアフターサービス.....	158
索引	159

同梱品を確かめる

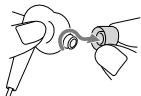
- ☐ ウォークマン本体(1)
- ☐ ヘッドホン(1)
- ☐ イヤーピース(各サイズ2個1組)
- ☐ USBケーブル(1)
- ☐ WM-PORTキャップ(1)
お買い上げ時はヘッドホンに装着されています。
- ☐ 取扱説明書(本書)(1)
- ☐ クイックスタートガイド～パソコンの設定(1)
- ☐ オーディオ機器などからの録音(1)
- ☐ 保証書(1)
- ☐ 製品登録のお願い(1)

本製品には、microSDカードは、同梱されておりません。

ヘッドホンのイヤークーピースを交換する

最も耳にフィットするサイズのイヤークーピースに交換してください。

- 1 ヘッドホンを押さえた状態で、イヤークーピースをねじりながら引き抜く。



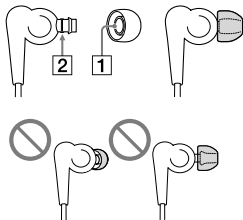
ヒント

- イヤークーピースが滑って外れない場合は、乾いた柔らかい布でくるむと外れやすくなります。

- 2 新しいイヤークーピースをヘッドホンに取り付ける。

イヤークーピースの着色部分の先端(1)が、ヘッドホンの突起部分にある(2)の位置にくるまで押し込んでください。

イヤークーピースが外れて耳に残らないよう、ヘッドホンにしっかり取り付けてください。



ヒント

- イヤークーピースが破損した場合には、イヤークーピース EP-EX11(別売)をご購入ください。

充電する

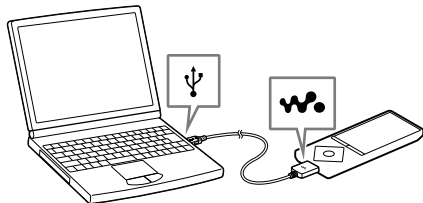
パソコンで充電する

ウォークマンは起動しているパソコンと接続することで充電されます。

ウォークマンとパソコンの接続には、同梱のUSBケーブルを使います。

本体画面右上の電池残量表示が **Full** になったら、充電完了し、ウォークマンの画面表示は消えます(満充電までに必要な時間:約4時間)。はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、なるべく電池残量表示が **Full** になるまで充電することをおすすめします。

充電完了後は、パソコンからウォークマンを取り外してください。

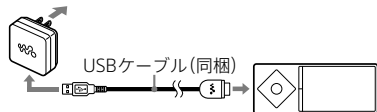


ご注意

- 電池残量が不足しているときにパソコンへ接続すると、画面表示までに約10分程度時間がかかる場合があります。

パソコンを使わずに充電する

ウォークマンはACアダプター (AC-NWUM60など) (別売) や、対応スピーカー (別売) を接続することで充電できます。



充電の方法について、詳しくはACアダプターまたは対応スピーカーの取扱説明書をご覧ください。

電池残量の表示について



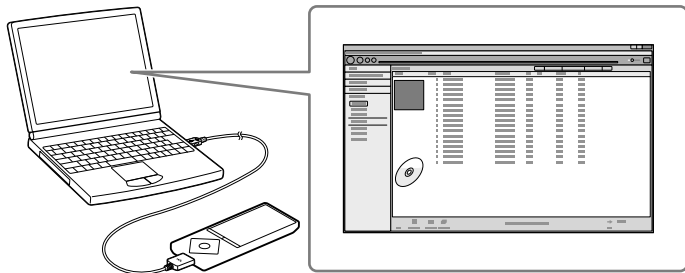
ご使用中、情報表示エリアの電池残量表示でお知らせします。目盛りが少ないほど、電池残量が減っています。電池の持続時間については、[P. 119](#) ページをご覧ください。

ご注意

- 電池の劣化を抑えるために、ウォークマンを長期間使わない場合でも、半年から1年ごとに充電するようにしてください。

パソコンにソフトウェアをインストールする

ウォークマンの本体メモリー内には、ウォークマンに音楽やビデオ、写真などを転送するためのソフトウェアなどが用意されています。別紙「クイックスタートガイド」をご覧ください。パソコンにインストールしてください。



microSDカードを入れる

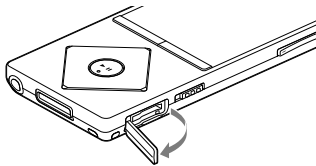
ウォークマンでは、本体に内蔵のメモリーのほかに、microSDカード（別売）に音楽／ビデオ／写真などのコンテンツを保存できます。

1 ホームメニュー →  (SDカード設定) → [SDカード挿入／取りはずし] を選ぶ。

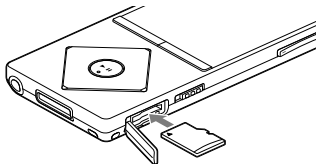
2 確認画面が表示されたら、[はい]を選択する。

画面にmicroSDカードの画像が表示され、ウォークマンは[SDカード挿入／取りはずし]モードになります。再生中の音楽やビデオが停止します。

3 microSDカードスロットの蓋を開ける。



- 4** [SDカード挿入／取りはずし]モードになっている間に、microSDカードを、microSDカードスロットに、端子面を下向きにしてカチッと音がするまでしっかり差し込む。



- 5** microSDカードスロットの蓋を閉める。
- 6** BACK／HOMEボタンを押して、[SDカード挿入／取りはずし]モードを終了する。
ウォークマンのデータベースが更新され、microSDカードに保存されたコンテンツにアクセスできるようになります。

ご注意

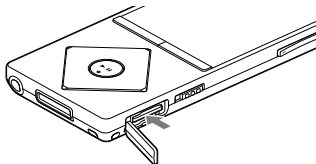
- 本書では、microSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを総称して「microSDカード」と呼びます。
- microSDカードが認識されない場合は、microSDカードを取り出し、再度入れ直してください。
- microSDカードスロットの挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、microSDカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDカードを挿入するとmicroSDカード内の全曲が[最近転送したアルバム]フォルダーの[最新]に入ります。
- microSDカードを挿入するとデータベースが更新されるため、聞いていた曲の再生位置の情報が消去されます。再度聞きたい曲を選択してください。
- 大量のコンテンツを保存したmicroSDカードを入れた場合、ウォークマンのデータベース更新に10分以上かかる場合があります。

microSDカードを取り出す

microSDカードを取り出す場合、microSDカードにアクセス中あるいは他の処理中に取り出すことを防ぐために、以下の手順に従ってください。

- 1 ホームメニュー →  (SDカード設定) → [SDカード挿入／取りはずし] を選ぶ。
- 2 確認画面が表示されたら、[はい]を選択する。
画面にmicroSDカードの画像が表示され、ウォークマンは[SDカード挿入／取りはずし]モードになります。再生中の音楽やビデオが停止します。
- 3 microSDカードスロットの蓋を開ける。

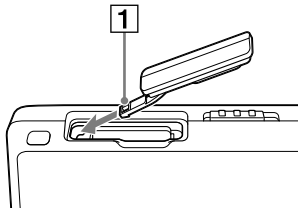
- 4** [SDカード挿入／取りはずし]モードになっている間に、アクセスランプが消えていることを確認してから、microSDカードを一度奥に押す。手前に出てきたら、microSDカードスロットから取り出す。



- 5** microSDカードスロットの蓋を閉める。
- 6** BACK／HOMEボタンを押して、[SDカード挿入／取りはずし]モードを終了する。
ウォークマンのデータベースが更新されます。

ヒント

- スロット蓋が外れた場合、図の**1**を矢印の方向へ差し込んでください。



ご注意

- 手順**6**の後、再度同じmicroSDカードを正しい手順で挿入した場合でも、ウォークマンで設定していたおまかせチャンネルの解析情報やブックマークなどのうち、microSDカードに保存されていたコンテンツの情報は削除されます。再度設定し直してください。

microSDカードを初期化(フォーマット)する

下記の手順に従って必ずウォークマン上で行ってください。初期化するとmicroSDカードに記録されたデータはすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。

1 ホームメニュー →  (SDカード設定) → [SDカード初期化] → [はい] → [はい] の順に選ぶ。

最後の[はい]を選ぶと、microSDカード内のすべてのデータが消去されます。初期化が終了すると[メモリーの初期化が完了しました。]と表示されます。

ご注意

- ウォークマンで最初にmicroSDカードをお使いになるときは、必ずウォークマン上でmicroSDカードを初期化してください。

音楽／ビデオ／写真などのコンテンツを転送する

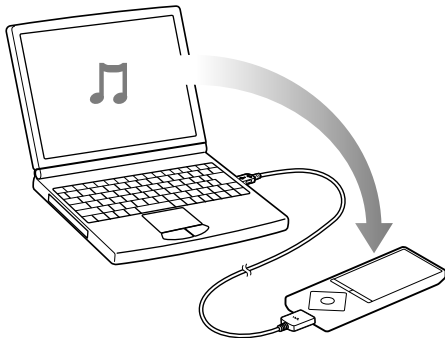
パソコンを使って音楽／ビデオ／写真を取り込む

パソコンを使ってウォークマンに音楽／ビデオ／写真などのコンテンツを取り込むには、同梱のソフトウェアを使うと便利です。

詳しくは別紙「クイックスタートガイド」または「ヘルプガイド」、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ご注意

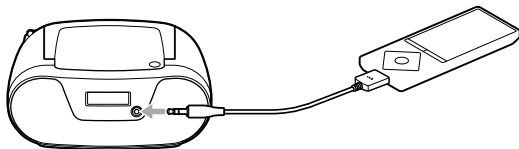
- ブルーレイディスク／DVDレコーダーの「おでかけ転送」機能を使用する場合、microSDカードにはデータを転送できません。
- 著作権保護された音楽コンテンツをmicroSDカードに転送することはできません。



パソコンを使わずに音楽／ビデオ／写真を取り込む

音楽を取り込む

録音用ケーブル(別売)を使ってウォークマンとオーディオ機器を接続すると、ウォークマンに直接、曲を録音することができます。詳しくは別紙「オーディオ機器などからの録音」をご覧ください。



ビデオ／写真を取り込む

パソコンを使わなくても、ブルーレイディスクレコーダーなどから直接ビデオや写真をウォークマンに転送することができます。対応機器の情報は、サポートホームページ(156 ページ)をご覧ください。転送方法について、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

日付と時刻を設定する

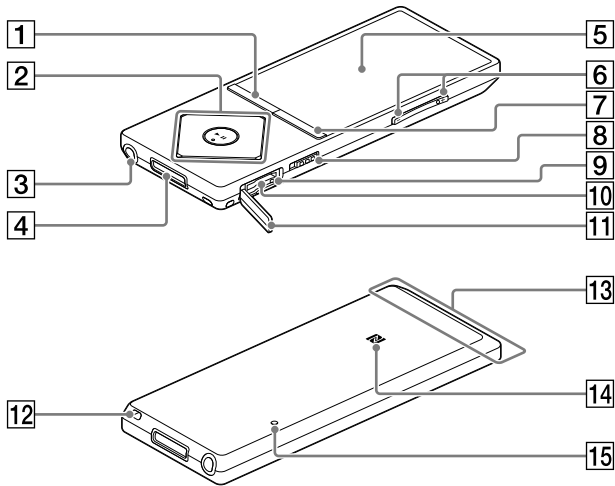
お使いになる前に、現在の日付と時刻を設定してください。ホームメニューについては④ 32ページをご覧ください。

- 1 ホームメニュー →  (各種設定) → [共通設定] → [時計設定] → [日付時刻設定] を選ぶ。
- 2 ◀/▶ボタンで年、月、日、時、分を選び、▲/▼ボタンで数字を選ぶ。
- 3 ▶||ボタンを押して決定する。

ご注意

- ウォークマンの内蔵時計は1か月で最大60秒の誤差が生じる場合があります。

各部の名前



1 バック BACK/ホーム HOMEボタン

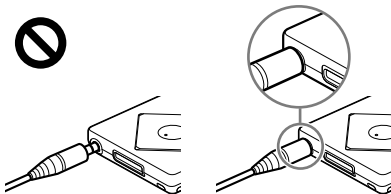
リスト画面の階層が上がったり、前の画面に戻ったりできます。押したまま(長押し)にすると、ホームメニューが表示されます(☞ 33 ページ)。

2 5方向ボタン*1

再生を始めたり、項目を選んだりできます(☞ 33 ページ)。

3 ヘッドホンジャック

同梱のヘッドホンを接続します。奥まで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。同梱のヘッドホンが正しく接続されていないと、音が正常に聞こえません。



ご注意

- Bluetooth接続中は、ヘッドホンジャックにヘッドホンを接続しても音は出ません。Bluetooth接続を切断してください(☞ 77 ページ)。

4 ダブルユーエムポート WM-PORTジャック

同梱のUSBケーブルや、別売のWM-PORT対応のアクセサリを接続できます。

使用しないときは、ヘッドホンプラグに装着されているWM-PORTキャップを差し込んで、水やほこりが入らないようにしてください。



5 画面

6 ^{ボリューム}VOL+*1/ーボタン

音量を調節します。

7 ^{オプション}OPTION/^{パワー}^{オフ}PWR OFFボタン

オプションメニューを表示します。長押しすると画面表示が消え、再生待機状態になります。

8 ^{ホールド}HOLDスイッチ

誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。HOLDスイッチを矢印の方向➡にスライドするとHOLD(ホールド)状態になり、操作ボタンが働かなくなります。HOLDスイッチを逆の位置にスライドすると解除されます(㊚ 30 ページ)。

9 アクセスランプ

10 microSDカードスロット (スロット蓋の中にあります。)

11 スロット蓋

12 ストラップ取り付け口

ストラップ(別売)を取り付けます。

13 内蔵Bluetoothアンテナ

ご注意

- Bluetooth接続中は手などでおおわないようにしてください。Bluetooth接続に障害を起こす場合があります。

14 Nマーク

NFC機能があるBluetoothオーディオ機器をここにタッチして接続します。

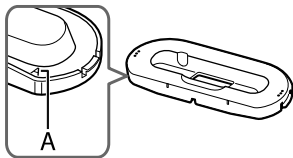
15 ^{リセット}RESETボタン

ペンやクリップなどでRESETボタンを押すと、ウォークマンをリセットできます(㊚ 128 ページ)。

*1 ボタンには、凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。(5方向ボタンには、▶■ボタンに突起がついています。)

クレードルなどのアクセサリ(別売) に取り付けるときは

ウォークマンをクレードルなどのアクセサリに取り付ける場合、アタッチメントが必要になることがあります。その場合は、アクセサリに同梱されているアタッチメント(Aタイプ)をお使いください。



HOLD(ホールド)を解除する

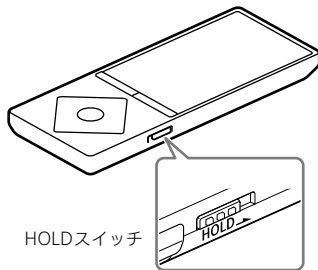
ボタン操作をするときは、HOLDスイッチを矢印(➡)と反対の方向にスライドさせ、HOLD(ホールド)を解除します。

ヒント

- HOLD(ホールド)状態のときにボタンを押すと、画面上部に **HOLD** が点滅します。



アイコン表示



HOLDスイッチ

電源を入れる／切る

電源を入れる

ウォークマンのいずれかのボタンを押すと、ウォークマンの電源が入ります。

電源を切る

OPTION／PWR OFFボタンを長押しすると、[POWER OFF]画面が表示されたあと、画面表示が消え再生待機状態になります。

ヒント

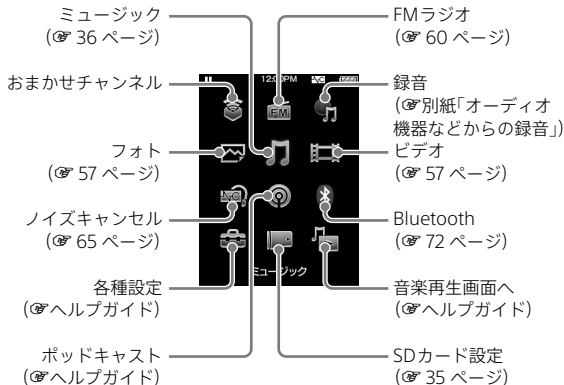
- ウォークマンは、一時停止中に一定時間操作がないと、自動的に再生待機状態になります。このときいずれかのボタンを押すと、画面が表示されます。
- 再生待機状態のまま最長で1日経過すると、自動的に電源が切れます。その後電源を入れるときには、起動に少し時間がかかります。

ご注意

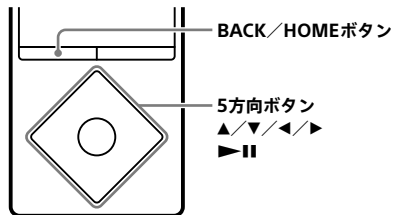
- パソコンに接続中はウォークマンを操作することはできません。ウォークマンをお使いのときは、USBケーブルを外してから操作してください。
- 再生待機状態でもわずかに電池を消耗します。

ホームメニューについて

ウォークマンでは、各機能の入り口がホームメニューになります。ここから各機能を選んだり、曲を探したり、設定を変更することができます。



ホームメニューから各機能または項目を選ぶ



- ➊ BACK/HOMEボタンを長押しして、ホームメニューを表示する。
- ➋ ▲/▼/◀/▶ボタンを押して、機能または項目を選ぶ。
- ➌ ▶||ボタンを押して、決定する。
- ➍ 手順➋から➌を繰り返す。

情報表示エリア



ホームメニュー

情報表示エリアに表示されるアイコン



再生の状態



HOLD (ホールド) 中
(☞ 30 ページ)



ノイズキャンセリング機能
の状態 (☞ 65 ページ)



電池残量 (☞ 14 ページ)



アラーム
(☞ 87 ページ)



スリープタイマー
(☞ 90 ページ)



Bluetooth接続の状態
(☞ 84 ページ)

保存するメモリーを切り替える

保存するメモリーを、ウォークマン本体の内蔵メモリーとmicroSDカードから選ぶことができます。

1 ホームメニュー →  (SDカード設定) → [使用メモリー選択] を選ぶ。

2 下記のいずれかを選ぶ。

- パソコンから転送する場合
[USB接続先メモリー選択] を選ぶ。
- オーディオ機器などから録音する場合
[録音先メモリー選択] を選ぶ。
- Bluetooth機器からファイルを受信する場合
[ファイル受信先メモリー選択] を選ぶ。

3 保存するメモリーを[本体メモリー]または[SDカード]から選ぶ。

ご注意

- ウォークマン上で、本体の内蔵メモリーとmicroSDカード間でのデータ転送はできません。

音楽を再生する

ホームメニューから🎵(ミュージック)を選ぶと、曲を再生できます。



1 ホームメニュー→🎵(ミュージック)を選ぶ。

2 希望の検索方法→希望の曲を選ぶ。

曲の再生が始まります。

◀/▶ボタンを押すと、前の曲や再生中の曲、次の曲の頭出しをします。

長押しすると、早戻しや早送りをします。

再生を一時停止するには、▶||ボタンを押します。

一時停止中に、一定時間操作がないと自動的に再生待機状態になります。

ヒント

- パソコンを使わず、オーディオ機器から直接録音した曲は、[録音した曲]からも再生できます。
- Bluetooth機能を使って受信した曲は、[受信した曲]からも再生できます。

おすすめの音響設定で聞く

ウォークマンに搭載されているオーディオ技術をバランスよく組み合わせて一回の操作で最適化する機能です。

1 音楽再生画面でOPTION／PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。

2 [ClearAudio+]→[オン]を選ぶ。

ヒント

- ハイレゾ音源で音響設定を有効にするには下記のようにしてください。この設定を行うと、ハイレゾ音源はCD音質相当にダウンサンプリングされます。
音楽再生画面でOPTION／PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示し、[ハイレゾ音響設定]→[オン(ダウンサンプリング)]を選ぶ。

ご注意

- 好みの音に設定していた場合、[ClearAudio+]を[オン]にすると一時的に[ClearAudio+]の音響設定に変更されますが、[オフ]にすれば元の音響設定に戻ります。

好みの音に設定する

ClearAudio+TM機能を使わずに、機能ごとに設定を変えることもできます。

- ❶ 音楽再生画面でOPTION／PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。
- ❷ [各種音質設定]→希望の機能を選ぶ。
- ❸ それぞれの設定を決める。
[イコライザー]、[VPT(サラウンド)]、[クリアステレオ]の設定ができます。

ハイレゾ音源を楽しむ

ハイレゾ音源は、従来のCDを超える高音質で記録されている音源です。ハイレゾ音源のコンテンツはインターネット経由で購入します。購入方法の一例は、別紙「クイックスタートガイド」をご覧ください。

ハイレゾ音源をそのままの音質で楽しむには、下記のように設定してください。

ハイレゾ音源をそのままの音質で楽しむ

- 1 ホームメニュー →  (各種設定) → [音楽設定] → [ハイレゾ音響設定] → [オフ (ソースダイレクト)] を選ぶ。

この設定にすると、ハイレゾ音源をそのままの音質で再生します。

ハイレゾ音源で音響設定を有効にする

ハイレゾ音源は、CD音質相当にダウンサンプリングすることにより、音響設定を有効にすることができます。

- 1 ホームメニュー →  (各種設定) → [音楽設定] → [ハイレゾ音響設定] → [オン (ダウンサンプリング)]

この設定にすると、CD相当の音質で再生します。

ヒント

- ハイレゾ音源と定義される内容についての詳細は、ヘルプガイドをご覧ください。

ご注意

- カラオケ機能、語学学習機能、ダンス機能、DPC機能を有効にして音楽を再生している場合、ハイレゾ音源はスキップされます。
- ハイレゾ音源は、そのままの音質でウォークマンの音響設定を有効にすることはできません。

圧縮音源でハイレゾ感を楽しむ

ウォークマンのDSEE HX機能を有効にすると、圧縮音源やCD品質の音源を、ハイレゾ相当の情報量を持つ高解像度音質にアップグレードします。

- 1** ホームメニュー →  (各種設定) → [音楽設定] → [DSEE HX] → [オン] を選ぶ。
DSEE HX機能は、音源の種類や[ハイレゾ音響設定]の設定により、出力時の音質が変わります。

再生するコンテンツ	[DSEE HX]の設定	[ハイレゾ音響設定]の設定	出力時の音質*1
CD音源や圧縮音源	オン	設定できません。	ハイレゾ相当*2
	オフ	設定しても反映されません。	CD音源や圧縮音源
ハイレゾ音源	オン	設定できません。	ハイレゾ*2
	オフ	オン(ダウンサンプリング)	CD相当
		オフ(ソースダイレクト)	ハイレゾ*2

*1 Bluetoothオーディオ機器からハイレゾ音源を出力する場合は、[DSEE HX]や[ハイレゾ音響設定]の設定に関わらずCD相当の音質で出力します。

*2 ハイレゾ、ハイレゾ相当の音質の場合、[ClearAudio+]、[イコライザー]、[VPT(サラウンド)]、[クリアステレオ]、[ダイナミックノーマライザー]、[Clear Phase™]、[xLOUD™]を設定しても反映されません。

再生方法を変える(プレイモード)

曲を順不同に再生したり、選んだ再生方法で繰り返し再生できます。

1 音楽再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。

2 [プレイモード]→希望の設定の種類を選ぶ。

選んだプレイモードで曲を再生することができます。

設定の種類(再生画面のアイコン)	説明
ノーマル(表示なし)	再生範囲の曲を順に再生します。
リピート(↺)	再生範囲の曲を順に繰り返し再生します。
シャッフル(↻)	再生範囲の曲を順不同に再生します。
シャッフルリピート(↺↻)	再生範囲の曲を順不同に繰り返し再生します。
1曲リピート(↺1)	再生中または再生を始めた曲を繰り返し再生します。

再生範囲を変える

曲の再生範囲を設定できます。お買い上げ時の設定は[全範囲を再生]になっています。選択したアーティストやアルバムの中の曲を再生するには、[選択範囲内を再生]に設定を変更してください。

1 音楽再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。

2 [再生範囲設定]→希望の再生範囲の種類を選ぶ。

設定の種類(アイコン)	説明
全範囲を再生 (表示なし)	音楽再生で選んだ検索方法(全曲、アルバム、アーティストなど)の対象となる曲をすべて再生します。 ミュージックメニュー内のアルバムなどを順に再生したい場合はこちらを選択してください。
選択範囲内を再生 (📁)	再生中の曲を含むフォルダー(アーティスト、アルバム、録音した曲など)の中の曲を再生します。

ご注意

- [再生範囲設定]で[全範囲を再生]と設定されていても、[ブックマーク]から曲を選んだときは、選んだブックマーク内の曲のみ再生されます。

再生速度を調整する

再生速度を0.5倍から2倍の間で調整できます。DPC(デジタル・ピッチ・コントロール)機能により、再生速度を変更しても自然な音程で再生することができます。

- 1 音楽再生画面でOPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。
- 2 [DPC(スピードコントロール)]▶希望の速度を選ぶ。

ヒント

- 再生速度の設定はポッドキャストの音楽再生画面でも有効です。

曲を削除する

曲の取り込み方法によって、削除の方法が異なります。

パソコンから転送した曲の場合

パソコンから転送した曲はウォークマンでは削除できません。削除の方法について詳しくは別紙「クイックスタートガイド」をご覧ください。

パソコンを使わず直接録音した曲の場合

- ① ホームメニュー ➡  (ミュージック) ➡ [録音した曲] ➡ [本体メモリー] または [SDカード] ➡ 削除したい曲のあるフォルダーを選ぶ。
フォルダーごと削除したい場合はフォルダーを選ばずに手順②へ進みます。
- ② OPTION/PWR OFF ボタンを押してオプションメニューを表示する。
- ③ [曲を選択して削除] ➡ 削除したい曲 ➡ [はい] を選ぶ。
フォルダーごと削除したい場合は、[フォルダーを選択して削除] ➡ 削除したいフォルダー ➡ [はい] を選びます。

お買い上げ時にあらかじめインストールされているサンプル曲の場合

- ① ホームメニュー→ (ミュージック)→[受信した曲]→[本体メモリー]→削除したいサンプル曲を選択し、再生する。
- ② OPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。
- ③ [この曲を削除]→[はい]を選ぶ。

ヒント

- ホームメニュー→ (各種設定)→[Bluetooth設定]→[受信ファイル全削除]でサンプル曲をまとめて削除できます。ただし、Bluetooth通信で受信した曲も同時に削除されます。
- WindowsパソコンのMedia GoやエクスプローラーまたはMacパソコンのFinderなどを使用して削除することもできます。
エクスプローラーやFinderを使って削除する場合は、[WALKMAN]→[RECEIVED]フォルダーを選択し、不要なサンプル曲を削除してください。

ご注意

- 一度削除したサンプル曲は元に戻せません。また、新たにサンプル曲の提供はいたしませんのでご了承ください。削除する前に必要なサンプル曲をMedia Goで取り込むなど、パソコン内に保存してください。

ブックマークを使う

お気に入りの曲だけを再生したり、好きな曲順で曲を再生したりするときはブックマークを使います。ブックマークは1から5まであります。

再生中の曲を登録する

- ① 音楽再生画面で、▶||ボタンを長押しする。
ブックマーク1(基本登録先)に登録されます。続けて登録したい場合は、登録したい曲を再生し、音楽再生画面で▶||ボタンを長押しします。

ブックマークを選んで曲を登録する

- ① 音楽再生画面またはリスト画面で、OPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。
- ② [ブックマークに登録]▶希望のブックマークを選ぶ。

ヒント

- 1つのブックマークにつき100曲まで登録できます。
- 基本登録先は、ブックマーク1から別のブックマークに変更することができます。

ブックマークした曲を再生する

- ① ホームメニュー ➡  (ミュージック) ➡ [ブックマーク] ➡ 希望のブックマーク ➡ 希望の曲を選ぶ。

ブックマークの曲順を変える

ブックマークの曲順を変えることができます。

- ① ホームメニュー ➡  (ミュージック) ➡ [ブックマーク] ➡ 希望のブックマークを選ぶ。
- ② OPTION / PWR OFF ボタンを押してオプションメニューを表示する。
- ③ [曲の並べ換え]を選ぶ。
- ④ ▲ / ▼ ボタンで移動したい曲を選び、▶|| ボタンを押して決定する。
選んだ曲の左横に双方向の矢印が表示されます。
- ⑤ ▲ / ▼ ボタンで移動先を選ぶ。
- ⑥ ▶|| ボタンを押して、移動先を決定する。
- ⑦ 手順④ から⑥ を繰り返し、曲順を入れ替える。
- ⑧ 入れ替えが終わったら、BACK / HOME ボタンを押して、元のリスト画面に戻る。

ブックマークから曲を解除する

ブックマークから曲を解除できます。1曲ずつ、またはすべての曲を一度に解除できます。

ブックマークから1曲を解除する

ホームメニュー ➡  (ミュージック) ➡ [ブックマーク] ➡ 対象のブックマーク ➡ 解除したい曲を選びます。OPTION/PWR OFF ボタンを押して、オプションメニューから [ブックマークから解除] を選びます。

ブックマークからすべての曲を解除する

ホームメニュー ➡  (ミュージック) ➡ [ブックマーク] ➡ 対象のブックマークを選びます。OPTION/PWR OFF ボタンを押して、オプションメニューから [ブックマークを全解除] ➡ [はい] を選びます。

ご注意

- microSD カードを抜くと、microSD カードに保存されている曲のブックマーク登録情報は解除されます。もう一度登録し直してください。

プレイリストの曲を再生する

プレイリストとは、パソコン上のソフトウェアを使って作成した曲の再生リストのことです。アルバム単位やアーティスト単位ではなく、好きな曲を好きな順に再生することができます。プレイリストをウォークマンで再生するには、同梱のソフトウェアを使う必要があります。詳しくはMedia GoまたはContent Transferのヘルプをご覧ください。

- 1 ホームメニュー ➡  (ミュージック) ➡ [プレイリスト] ➡ 希望のプレイリスト
➡ 希望の曲を選ぶ。

ヒント

- 本体メモリとmicroSDカード内の曲を混在させたプレイリストは作成できません。

カラオケ機能を使う

カラオケ機能を使うと、再生曲のボーカルを抑えたり、曲のキー(音程)を変更して、カラオケを楽しむことができます。

- 1 ホームメニュー →  (各種設定) → [音楽設定] → [カラオケ・語学・ダンスモード] → [カラオケ(効果強)] または [カラオケ(効果弱)] を選ぶ。
- 2 ホームメニュー →  (ミュージック) → 希望の検索方法からカラオケをしたい曲を再生する。
曲のボーカル部分が抑えられて再生されます。

曲のキー(音程)を変更する

カラオケ機能使用中に音楽再生画面で▲／▼ボタンを押すと、曲のキー(音程)の上げ下げができます。

ご注意

- 曲自体のエフェクト(音響効果)によって、ボーカル抑制の効果は異なります。そのため、ボーカルがほとんど抑制されなかったり、逆効果になる曲もあります。
- カラオケ機能を使って曲を再生する場合、ハイレゾ音源はスキップされます。また[DSEE HX]は設定しても反映されません。

語学学習機能を使う

設定を[語学学習]にすると、クイックリプレイ(3秒前に戻す)、A-Bリピート(区間リピート)など、語学学習に適した機能を使うことができます。

- 1 ホームメニュー →  (各種設定) → [音楽設定] → [カラオケ・語学・ダンスモード] → [語学学習] を選ぶ。
- 2 ホームメニュー →  (ミュージック) → 希望の検索方法から語学学習モードで聞きたい曲を再生する。

3秒前に戻して聞き直す

聞き逃した部分を再度聞きたいときなどに使います(クイックリプレイ)。

- 1 再生画面で、再生中または一時停止中に▲ボタンを押す。
押した回数に応じて3秒、6秒、9秒…と戻ります。

ご注意

- 語学学習機能を使って曲を再生する場合、ハイレゾ音源はスキップされます。また[DSEE HX]は設定しても反映されません。

同じところを繰り返し再生する

再生中の音声の任意の区間を繰り返し再生できます(A-Bリピート)。

- ① 再生画面で、A-Bリピートを開始したい位置で▼ボタンを押す。

A点(A-Bリピートの開始点)が表示されます。A点から曲の終わりまでの区間が繰り返し再生されます。

- ② A-Bリピートの終了点に設定したい位置で▼ボタンを押す。

B点(A-Bリピートの終了点)が表示されます。A点からB点までの区間が繰り返し再生されます。A点とB点の間は最低1秒間の間隔を空けてください。

ヒント

- A-Bリピート中は、一時停止／再生再開、早送り、早戻し、クイックリプレイの操作を通常と同様に行えます。また、次の操作ができます。
 - ー A点に戻るには、◀ボタンを押す。
 - ー B点に進み、A-Bリピートを解除するには、▶ボタンを押す。
 - ー A-Bリピートを解除するには、▼ボタンを押す。

ダンス機能を使う

ダンス機能を使うと、再生中の音声の任意の区間を繰り返し再生したり、再生速度を細かく変えたりできます。効率的にダンスの練習ができます。

- 1 ホームメニュー →  (各種設定) → [音楽設定] → [カラオケ・語学・ダンスモード] → [ダンス] を選ぶ。
- 2 ホームメニュー →  (ミュージック) → 希望の検索方法からダンス機能を使いたい曲を再生する。

曲のスピードを変えて再生する

振りが難しいところをゆっくり再生して練習できます(スピードコントロール)。

- 1 再生画面で、▲ボタンを押す。
速度調節画面が表示されます。
- 2 ▲／▼ボタンを押して、速度を調節する。
元の再生画面に戻るには、BACK／HOMEボタンを押します。

ご注意

- ダンス機能を使って曲を再生する場合、ハイレゾ音源はスキップされます。また[DSEE HX]は設定しても反映されません。

同じところを繰り返し再生する

再生中の音声の任意の区間を繰り返し再生できます(A-Bリピート)。

- 1 再生画面で、A-Bリピートを開始したい位置で▼ボタンを押す。

A点(A-Bリピートの開始点)が表示されます。A点から曲の終わりまでの区間が繰り返し再生されます。

- 2 A-Bリピートの終了点に設定したい位置で▼ボタンを押す。

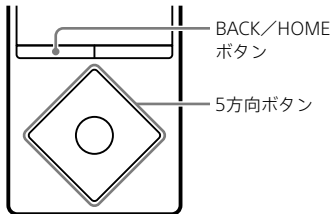
B点(A-Bリピートの終了点)が表示されます。A点からB点までの区間が繰り返し再生されます。A点とB点の間は最低1秒間の間隔を空けてください。

ヒント

- A-Bリピート中は、一時停止／再生再開、早送り、早戻し操作を通常と同様に行えます。また、次の操作ができます。
 - － A点に戻るには、◀ボタンを押す。
 - － B点に進み、A-Bリピートを解除するには、▶ボタンを押す。
 - － A-Bリピートを解除するには、▼ボタンを押す。

ビデオ／写真を再生する

ウォークマンに転送したビデオや写真は、ホームメニューから  (ビデオ)、 (フォト) を選んで再生します。



1 ホームメニュー →  (ビデオ)、 (フォト) のいずれかを選ぶ。

2 希望のフォルダー → 希望のビデオ、写真を選ぶ。

再生が始まります。ビデオや写真の再生時はウォークマンは横向き表示になります。

再生／一時停止する	▶▶ ボタンを押す。(一時停止中に、一定時間操作がないと自動的に再生待機状態になります。)
前／次の写真を表示する	一時停止中に ◀ (前) / ▶ (次) ボタンを短押しする。
前／次の写真を連続して送る	◀ (前) / ▶ (次) ボタンを長押しする。
ビデオを早送り／早戻しする	再生中に ◀ / ▶ ボタンを押し、見たいところで ▶▶ ボタンを押す。または、再生中／一時停止中に ◀ / ▶ ボタンを長押しし、見たいところで離す。
ビデオの少し前に戻る／先に進む	一時停止中に ◀ / ▶ ボタンを短押しする。
ビデオの前／次の場面やチャプターに移動する	▲ (前に戻る) / ▼ (次に進む) ボタンを押す。ビデオにチャプターが設定されていない場合は、5分ごとに場面が前／次に移動します。
リスト画面に戻る	BACK / HOME ボタンを短押しする。

(◀ / ▶ / ▲ / ▼ ボタンは、ウォークマンを横向きに持ったときの向きになります。)

ビデオ／写真を削除する

- 1 ホームメニュー →  (ビデオ)、 (フォト) のいずれかを選ぶ。
- 2 削除したいビデオまたは写真のあるフォルダーを選ぶ。
[PICTURE] や [VIDEO] フォルダーを選んだ場合は、メモリー選択画面が表示されます。[本体メモリー] または [SDカード] のいずれかを選んでください。
ビデオまたは写真のリスト画面が表示されます。
- 3 OPTION／PWR OFF ボタンを押してオプションメニューを表示する。
- 4 [ビデオを選択して削除] または [写真を選択して削除] → 削除したいビデオまたは写真 → [はい] を選ぶ。
- 5 削除が終わったら、BACK／HOME ボタンを押す。

ヒント

- ビデオまたは写真再生画面で OPTION／PWR OFF ボタンを押して、オプションメニューから [このビデオを削除] または [この写真を削除] → [はい] を選ぶと、再生中のビデオまたは写真が削除できます。

FMラジオ放送を聞く

ウォークマンでは、FMラジオ放送を楽しめます。接続した同梱のヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。コードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。



- 1 ホームメニュー → **FM** (FMラジオ) を選ぶ。
- 2 ▲/▼ボタンで周波数を選ぶか、◀/▶ボタンでプリセット番号を選ぶ。

ヒント

- 放送局がプリセット登録されていないときは、プリセット番号で選局できません。受信可能な放送局をオートプリセット機能で自動登録するか、または手動で登録してからお使いください。
- Bluetooth接続中は、FMラジオを聞けません。Bluetooth接続を切断し、同梱のヘッドホンをつないでお聞きください。

ご注意

- 別売のスピーカーに接続中はFMラジオを聞けません。スピーカーからウォークマンを取り外し、同梱のヘッドホンをつないでお聞きください。

自動で放送局を登録する

[オートプリセット]を実行すると、お使いの地域で受信できる放送局を自動的に探してプリセット登録できます(最大30局まで)。

- 1 FMラジオ画面でOPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。
- 2 [オートプリセット]▶[はい]を選ぶ。
受信可能な低い周波数の放送局から順番にプリセット登録されます。

ヒント

- 放送局を探すときに、受信感度が強すぎて多くの不要な放送局を受信してしまうときは、スキャン感度の設定を[低]に設定してください(☞ 63 ページ)。

ご注意

- [オートプリセット]を実行すると、それまで登録されていたプリセットはすべて消去されます。

手動で放送局を登録する

登録したい周波数を手動でプリセット登録できます(最大30局まで)。

- 1 FMラジオ画面で登録したい周波数を選ぶ。
- 2 OPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。
- 3 [プリセットに登録]を選ぶ。

ご注意

- プリセット番号は、低い周波数から順番に振り直されます。

登録した放送局を解除する

- 1 FMラジオ画面で登録を解除したい周波数のプリセット番号を選ぶ。
- 2 OPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。
- 3 [プリセットを解除]を選ぶ。

FMラジオの設定を変更する

スキャン感度

電波の状態によっては、多くの不要な放送局を受信してしまう場合があります。このようなときは、スキャン感度を[低]に設定してください。

- ① FMラジオ画面でOPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。
- ② [スキャン感度]→[低]または[高]を選ぶ。

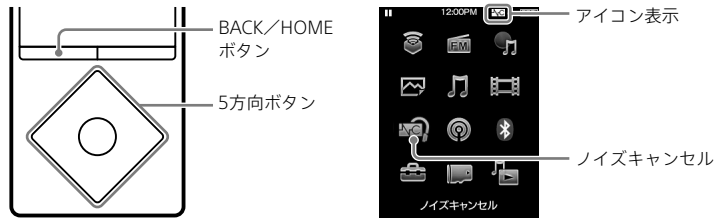
モノラル／オート

FMラジオ放送を受信中に雑音が多いときは、[モノラル／オート]の設定を[モノラル]にしてください。[オート]に設定してある場合は、ステレオとモノラルは受信時の状態によって自動設定されます。

- ❶ FMラジオ画面でOPTION／PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示する。
- ❷ [モノラル／オート]→[モノラル]または[オート]を選ぶ。

周囲の騒音を低減させて聞く

ウォークマンのノイズキャンセリング機能を有効にすると、周囲の騒音を低減することができます。ノイズキャンセリング機能は同梱のヘッドホンおよび、別売のノイズキャンセリング機能対応ヘッドホンMDR-NWNC33/MDR-NWNC200をお使いの場合のみ有効です。



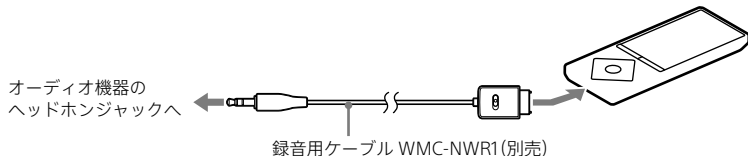
- 1 対象のヘッドホンをウォークマンに接続し、ホームメニュー ➡  (ノイズキャンセル) ➡ [ノイズキャンセルオン/オフ] ➡ [オン] を選ぶ。
情報表示エリアに  が表示されます。

ご注意

- 対象のノイズキャンセリング機能対応ヘッドホン以外を使っているときには[ノイズキャンセルオン／オフ]を[オン]にしても、ノイズキャンセリング機能は働きません。その場合、情報表示エリアに表示されるノイズキャンセリングアイコンが暗くなります()。
- 同梱のヘッドホンは専用ヘッドホンのため、他の機器には使用することができません。
- ノイズキャンセリング機能が有効なときは、かすかにサーという音がしますが、ノイズキャンセリング機能の動作音で、故障ではありません。
- 静かな場所や、ノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなると感じる場合があります。その場合は、[ノイズキャンセルオン／オフ]を[オフ]にしてください。
- [ヘッドホン選択]で[その他のヘッドホン]を選択している場合は、ノイズキャンセリング機能が有効になりません。

他のプレーヤーの音を聞く(外部入力)

飛行機内のオーディオ機器などの音声をノイズキャンセリング機能を使って聞くことができます。録音用ケーブル WMC-NWR1(別売)を使います。



- 1 対象のヘッドホンウォークマンに接続し、ホームメニュー→ (ノイズキャンセル)→[ノイズキャンセルオン/オフ]→[オン]を選ぶ。
- 2 録音用ケーブル WMC-NWR1(別売)をウォークマンのWM-PORTジャックに接続し、オーディオ機器のヘッドホンジャックに接続する。
- 3 ホームメニュー→ (ノイズキャンセル)→[外部入力/サイレント]を選ぶ。
オーディオ機器からの音声にノイズキャンセリング効果が適用されます。

騒音を低減して静かな環境を作る(サイレント)

音楽などのコンテンツを再生しないときでも、対象のヘッドホンのノイズキャンセリング効果を利用して、周囲の騒音を低減することができます。

- ① 対象のヘッドホンをウォークマンに接続し、ホームメニュー →  (ノイズキャンセル) → [ノイズキャンセルオン/オフ] → [オン] を選ぶ。
- ② ホームメニュー →  (ノイズキャンセル) → [外部入力/サイレント] を選ぶ。
周囲の騒音が低減されます。

ヒント

- 録音用ケーブル(別売)を接続すると、[サイレント]から[外部入力]に自動的に切り替わります。

ノイズキャンセリングの設定を変更する

環境選択

対象のヘッドホンを使うと、周囲の騒音の種類を選択することで、それぞれの環境において最も効果的にノイズキャンセリング機能が適用されるように設定することができます。

- ① ホームメニュー →  (ノイズキャンセル) → [環境選択] → 希望の設定の種類を選ぶ。
[室内]を選んだ場合、主にオフィス、勉強部屋などのOA機器や空調機器の騒音を効果的に低減します。
[フルオートAINC]を選んだ場合、周囲の環境音を即座に解析し、その場に最も効果的な環境を自動的に設定します。

ノイズキャンセリング調整

ウォークマンは、対象のヘッドホンでノイズキャンセリング効果が最も得られるようにあらかじめ設定されています。耳の形状や使用環境に合わせてノイズキャンセリング調整をすることで、さらに効果が得られる場合があります。

- ① ホームメニュー →  (ノイズキャンセル) → [ノイズキャンセル調整] を選ぶ。

② ◀/▶ボタンで希望の値を選び、▶||ボタンを押して決定する。

31段階の値で調節できます。スライダーの中央の位置が標準的な環境で最も効果が得られる設定です。お好みで調整してください。

ご注意

- この設定は同梱のヘッドホンおよび、別売のノイズキャンセリング機能対応ヘッドホンMDR-NWNC33／MDR-NWNC200をお使いの場合のみ有効です。
- ノイズキャンセリング調整を最大にすればノイズキャンセル効果がより得られるようになるわけではありません。

Bluetooth機能とは

Bluetooth無線技術は、ヘッドホンやステレオミニコンポなどのデジタル機器同士で接続を行うための近距離無線技術です。約10 mまでの距離で接続を行うことができます。

音楽を聞く



Bluetoothオーディオ機器を使ってワイヤレスで音楽を楽しめます。(☞ 72 ページ)

ファイルを送受信する

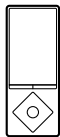


他のBluetooth機器とファイルのやりとりができます。(☞ 80 ページ)

Bluetoothオーディオ機器で音声を聞く

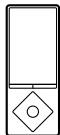
Bluetoothオーディオ機器でウォークマンの音声を聞くには、以下の手順に従ってください。

- 1 初回接続時は、ウォークマンと相手側Bluetoothオーディオ機器をペアリングする(☞ 74 ページ)。



ペアリングをすると、
自動で接続(下記手順**2**)が
行われます。

- 2 ウォークマンと相手側Bluetoothオーディオ機器をBluetooth接続する(☞ 76 ページの手順**1** ~ **3**)。



3 ウォークマンの音声を再生する (㊦ 76 ページの手順④)。



ウォークマンはBluetoothプロファイル*として、A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) と AVRCP (Audio／Video Remote Control Profile) に対応しています。

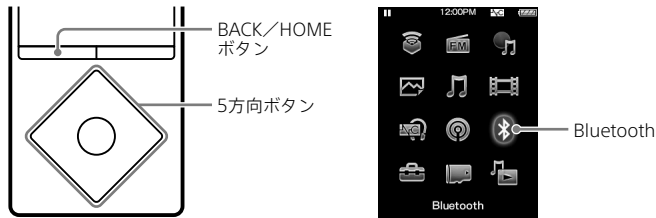
接続するBluetoothオーディオ機器のプロファイルが、A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) に対応している必要があります。

AVRCPに対応したBluetoothヘッドホンなどからウォークマンの基本操作を行うことができます。

* Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

機器登録(ペアリング)する

Bluetooth機器同士をはじめてワイヤレス接続するときは、お互いの機器を登録しておく必要があります。この登録のことを「ペアリング」といいます。



- 1 相手側のBluetoothオーディオ機器とウォークマンを1 m以内に置く。
- 2 相手側のBluetoothオーディオ機器をペアリングモードにする。
- 3 ホームメニュー →  (Bluetooth) → [機器登録(ペアリング)]を選ぶ。
ペアリング可能なBluetoothオーディオ機器の検索が始まり、該当する機器の機種名が表示されます。
- 4 ペアリングしたい相手側のBluetoothオーディオ機器を選ぶ。

⑤ ペアリングが完了し、自動的にBluetooth接続されていることを確認する。

[接続処理が完了しました。(SBC)]または[接続処理が完了しました。(aptX)]と表示されます。ウォークマンで再生を始めると、相手側のBluetoothオーディオ機器で音声を聞くことができます。(🔗 76 ページ)

ご注意

- ペアリングの接続処理中にパスキー*の入力画面が表示されたら、相手側のBluetoothオーディオ機器のパスキーを確認し、入力してください。
- * パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。ウォークマンのパスキーは[0000]です。Bluetoothオーディオ機器のパスキーについては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- 一度にペアリングできるのはひとつのBluetoothオーディオ機器のみです。複数の機器をペアリングするには、それぞれの機器を手順①から行ってください。
- 同じBluetoothオーディオ機器の名前が表示されたときは、ペアリングしたい機器のBDアドレスを確認してください。BDアドレスについては、お使いのBluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続したいBluetoothオーディオ機器にNFC機能が搭載されている場合は、ウォークマンのNマーク部分を、Bluetoothオーディオ機器のNマーク部分にタッチすると、ペアリングとBluetooth接続が行われます。(🔗 78 ページ)

音楽を聞く

Bluetooth接続で音楽を再生します。ペアリングが済んでいるBluetoothオーディオ機器でも毎回Bluetooth接続が必要です。ペアリング直後はBluetooth接続された状態になりますので、手順④から始めてください。

- ① 接続するBluetoothオーディオ機器の電源を入れ、接続待ち状態にする。
詳しくは相手側のBluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- ② ホームメニュー →  (Bluetooth) → [オーディオ機器接続] を選ぶ。
- ③ 希望のBluetoothオーディオ機器を選ぶ。
Bluetooth接続すると、接続した機器のアイコンに  が表示されます。
- ④ ウォークマンで曲を再生する。
曲を聞き終わったら、ウォークマンとBluetoothオーディオ機器の両方の電源を切ります。

ヒント

- ウォークマンで設定した音質設定や音響効果を有効にできます。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

Bluetooth接続を切断する

- ① ホームメニュー →  (Bluetooth) → [オーディオ機器切断] を選ぶ。

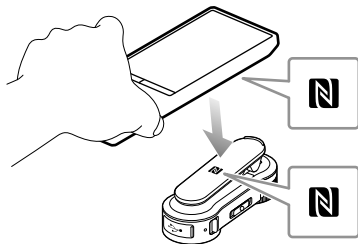
Bluetoothヘッドホンとヘッドホンを切り替えるには

Bluetooth接続中は、ヘッドホン(ヘッドホン端子に接続するタイプのヘッドホン)から音は出ません。ヘッドホンを使うときはBluetooth接続を切ってください。

- ① ホームメニュー →  (Bluetooth) → [オーディオ機器切断] を選ぶ。

ワンタッチ(NFC)で接続する

接続したいNFC機能搭載Bluetoothオーディオ機器にウォークマンをタッチすると、ペアリングとBluetooth接続が行われます。



- 1 Bluetoothオーディオ機器にNFCスイッチがある場合は、NFCスイッチを「ON」にする。

2 ウォークマンをBluetoothオーディオ機器にタッチする。

ウォークマンのNマーク部分を、Bluetoothオーディオ機器のNマーク部分にタッチします。
ウォークマンの画面に指示が出るまでタッチし続けてください。

3 画面の指示に従って接続を完了する。

ヒント

- 接続を解除するには、もう一度タッチします。
- 接続がうまくいかないときは次のことを行ってください。
 - ー ウォークマンをBluetoothオーディオ機器のNマーク部分の上でゆっくり動かす。
 - ー ウォークマンにケースを付けている場合は、ケースを外す。

ご注意

- ウォークマンがHOLD(ホールド)状態の時は接続できません。HOLD(ホールド)を解除してからタッチして接続してください(☞ 30 ページ)。
- 画面表示が消えて再生待機状態になっているときは接続できません。画面を表示させてからタッチして接続してください(☞ 31 ページ)。
- FMラジオ放送を聞いているときは接続できません。FMラジオ放送を終了してからタッチして接続してください。
- オーディオ機器などからの録音中は接続できません。録音が終了してからタッチして接続してください。

ファイルを送る／受け取る

ファイルを送る

ウォークマン内のファイルを、Bluetooth機能を使って他のBluetooth機器に送ることができます。

ご注意

- ウォークマンはBluetoothプロファイル*として、OPP (Object Push Profile) に対応しています。接続するBluetooth機器のプロファイルが、OPP (Object Push Profile) に対応している必要があります。
- お客様個人として楽しむなどのほか、他人の著作物を許可なくファイル転送することは、著作権法で禁止されています。

* Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

- ❶ 相手側のBluetooth機器をファイルの受信待機状態にする。
- ❷ ウォークマンの曲やビデオ、写真、ポッドキャストの再生画面で、OPTION／PWR OFF ボタンを押してオプションメニューを表示する。
- ❸ [ファイル送信]を選ぶ。

- ④ OPTION/PWR OFFボタンを押してオプションメニューを表示し、[接続機器の検索]を選ぶ。
周辺機器検索画面が表示されます。
- ⑤ 相手側のBluetooth機器を選び、送信する。
検索されたBluetooth機器の機種名が表示されるので、機種を選び、その後は画面に従って操作してください。
Bluetooth接続処理の画面が表示され、ファイルの送信が開始されます。
- ⑥ ファイルの送信が完了したことを確認する。
受信側のBluetooth機器で受信待機状態を終了します。

ご注意

- パスキー*の入力画面が表示されたら、相手側のBluetooth機器のパスキーを確認し、入力してください。
 - パスキー入力that完了しないなどの理由により、一定時間以内にペアリングが完了しなかった場合は、もう一度手順④の最初から操作してください。
 - 接続する機器によっては、BDアドレス(英数字のコード)で機器の確認を行なうことがあります。画面の指示に従って操作してください。
- * パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。ウォークマンのパスキーは[0000]です。Bluetooth機器のパスキーについては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- ファイルを送ったことがある機器を選ぶときは、手順④は不要です。

ファイルを受け取る

他のBluetooth機器から送信されたファイルを受け取ることができます。

- ① ホームメニュー →  (SDカード設定) → [使用メモリー選択] → [ファイル受信先メモリー選択] → [本体メモリー] または [SDカード] を選ぶ。
- ② ホームメニュー →  (Bluetooth) → [ファイル受信] を選ぶ。
ウォークマンはファイル受信待機状態になります。
- ③ Bluetooth機器からウォークマンにファイルを送信する。
初めて接続するときは、ペアリング処理が実行されます。パスキー(英数字のコード)がウォークマンとBluetooth機器に表示されたら、双方が一致するか確認してください。
- ④ ファイル受信後、BACK/HOMEボタンを押す。
ウォークマンのファイル受信待機状態が解除されます。

ご注意

- パスキー*の入力画面が表示されたら、相手側のBluetooth機器のパスキーを確認し、入力してください。

- 相手側のBluetooth機器側にウォークマンのBDアドレス(英数字のコード)が表示されたときは、ウォークマンの画面に表示されるBDアドレスと一致するか確認してください。(Bluetooth機器によってはウォークマンのBDアドレスが表示されない場合もあります。)
- タイムアウトによりペアリングやファイル送受信が途中で中断された場合は、Bluetooth機器から再度ファイルを送信してください。
- * パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。ウォークマンのパスキーは[0000]です。Bluetooth機器のパスキーについては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- 受信したファイルは手順❶で選択したメモリーの[RECEIVED]フォルダーに格納されます。ウォークマンで再生できないファイルを受信した場合は、WindowsパソコンのエクスプローラーやMacパソコンのFinderで[RECEIVED]フォルダーからファイルを探す必要があります。
- 同じ名前のファイルを受信したときは、ファイル名と拡張子の間に番号が付きます。
- ウォークマンが対応していないファイルを受信することはできますが、対応していないファイルはウォークマン上で表示されなかったり、再生時にエラーとなります。
- [RECEIVED]フォルダーにはサンプル曲があらかじめ格納されています。

受信したファイルを再生／削除する

受信した曲、ビデオ、写真は、それぞれの機能から[受信した曲]、[受信したビデオ]、[受信した写真]を選択すると、再生や削除を行うことができます。

Bluetooth状態アイコンについて

Bluetooth接続状態は、情報表示エリアに  アイコンで表示されます。

アイコンの色	説明
灰色	Bluetooth機能はオンになっているが、他の機器とは接続していない。
青色	Bluetooth機能はオンになっていて、他の機器と接続している。
非表示	Bluetooth機能はオフになっている。

Bluetooth接続の使用上のご注意

- Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- ウォークマンにはアンテナが搭載されています。アンテナ部分の方向を接続したBluetoothオーディオ機器に向けることで、Bluetooth接続の感度が良くなります。ウォークマンとBluetoothオーディオ機器の間に障害物などがあった場合、接続有効範囲は変わります。
- 以下の場合、Bluetooth接続に障害を起こす場合があります。このような場合、音が途切れたりファイルの送受信に失敗することがありますが故障ではありません。使用環境を変えてご使用ください。
 - ー 金属製のかばんの中で使う場合
 - ー リュックなど背中に背負うかばんや肩にかけるかばんに入れて使う場合
 - ー 無線LANが構築されている場所、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など
- Bluetoothオーディオ機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - ー ウォークマンとBluetoothオーディオ機器を接続するときは、無線LANを搭載した機器から10 m以上離れたところで行う。
 - ー ウォークマンとBluetoothオーディオ機器をできるだけ近づける。
 - ー 無線LANを搭載した機器から10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

- Bluetooth無線技術の特性により、送信側での音声に比べて、受信側のBluetoothオーディオ機器での再生がわずかに遅れます。
- Bluetoothオーディオ機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではウォークマンおよびBluetoothオーディオ機器の電源を切ってください。
病院内／電車内の優先席付近／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所や、自動ドアや火災報知機の近く
- ウォークマンは、Bluetooth技術を使用した接続時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth技術を使用した接続を行う際はご注意ください。
- Bluetooth技術を使用した接続時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ウォークマンはすべてのBluetoothオーディオ機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
 - － 接続するBluetoothオーディオ機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - － 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるようになるまで時間がかかることがあります。

アラームを使う

設定した時刻にウォークマンの再生を開始することができます。

- 1 ホームメニュー →  (各種設定) → [アラーム／スリープ設定] → [アラーム設定] を選ぶ。

アラーム機能設定項目一覧が表示されます。

- 2 [アラームのオン／オフ] を選ぶ。

アラーム設定を有効／無効にします。

- 3 [アラーム時刻設定] を選ぶ。

アラーム開始時刻を設定します。

- 4 [繰り返し設定] を選ぶ。

アラームの繰り返しのパターンを設定することができます。
オフにすると1度のみアラームが作動します。

5 [アラーム音設定]を選ぶ。

好みの曲をアラームに使うことができます。アラームを止めるまで、アラーム音／曲が繰り返し再生されます。

設定の種類	説明
固定アラーム音	ウォークマンにあらかじめ登録されたアラーム音を再生します。
アラーム曲	設定した曲を再生します。設定については、「アラーム曲を選ぶ」をご覧ください。

アラーム曲を選ぶ

- ① ホームメニュー ➡  (ミュージック) ➡ 希望の検索方法 ➡ 希望の曲を選ぶ。
- ② OPTION / PWR OFF ボタンを押してオプションメニューを表示する。
- ③ [この曲をアラームに使う]を選ぶ。

アラームを止める

- ① アラーム作動中に、▶|| ボタンを押す。

ヒント

- アラーム設定を[オン]にすると、情報表示エリアに  が表示されます。

ご注意

- [日付時刻設定]が正しく設定されていないと、アラームを正確な時間に設定することはできません。アラームをお使いの前に、日付と時刻を正しく設定してください(☞ 25 ページ)。
- 現在時刻は、1か月で最大60秒の誤差が生じる場合があります。アラームをお使いのときは、現在時刻に誤差がないか確認してください。
- アラームは60分後に自動的に止まります。
- ヘッドホンをお使いの場合は、[AVLS(音量制限)]の設定にかかわらず、アラーム音量がAVLS機能によって制限されます。

スリープタイマーを使う

設定時間が経過すると、再生が自動的に停止されます。

- 1 ホームメニュー →  (各種設定) → [アラーム／スリープ設定] → [スリープタイマー設定] → 希望の設定を選ぶ。

ヒント

- スリープタイマーを設定すると、情報表示エリアに  が表示されます。

ヘッドホンを選択する

ヘッドホン選択

使用するヘッドホンを設定します。

対象のヘッドホンを選択すると、ノイズキャンセリング効果が最適になるように自動調整されます。また、ヘッドホンの“Clear Phase”機能の設定を行えるようになります。

- ① ホームメニュー →  (各種設定) → [ヘッドホン選択] → ヘッドホンの種類を選ぶ。

種類	説明
付属／MDR-NWNC33	[Clear Phase™] 設定画面に進みます (㊚ 92 ページ)。
MDR-NWNC200	[Clear Phase™] 設定画面に進みます (㊚ 92 ページ)。
その他のヘッドホン	上記以外のヘッドホンをお使いの場合はこちらを選んでください。

ヘッドホンの“Clear Phase”設定

ヘッドホンの“Clear Phase”機能は、同梱のヘッドホンおよび別売のヘッドホン(MDR-NWNC33／MDR-NWNC200)に合わせて音響特性を最適にします。

- ① ホームメニュー →  (各種設定) → [ヘッドホン選択] → ヘッドホンの種類を選ぶ → [オン] または [オフ] を選ぶ。

ご注意

- “Clear Phase”機能は、ビデオ、ビデオポッドキャスト、FMラジオの音声については、音響特性の最適化を行いません。

スピーカーを選択する

スピーカー選択

使用するスピーカー（別売）を設定します。

対象のスピーカーを選択すると、スピーカーの“Clear Phase”機能および“xLOUD”機能の設定を行えるようになります。

- ① ホームメニュー →  (各種設定) → [スピーカー選択] → スピーカーの種類を選ぶ。

種類	説明
RDP-NWT19	[RDP-NWT19] 設定画面に進みます。“Clear Phase”機能 (🔍 94 ページ) および“xLOUD”機能 (🔍 94 ページ) の設定を行ってください。
その他のスピーカー	上記以外のスピーカーをお使いの場合はこちらを選んでください。

スピーカーの“Clear Phase”設定

スピーカーの“Clear Phase”機能は、別売のスピーカー (RDP-NWT19) に合わせて音響特性を最適にします。

- 1 ホームメニュー →  (各種設定) → [スピーカー選択] → [RDP-NWT19] → [Clear Phase™] → [オン]または[オフ]を選ぶ。

ご注意

- “Clear Phase”機能は、ビデオ、ビデオポッドキャストについては、音響特性の最適化を行いません。

“xLOUD”設定

“xLOUD”機能を使うと、別売のスピーカー (RDP-NWT19) で迫力ある音を楽しめます。

- 1 ホームメニュー →  (各種設定) → [スピーカー選択] → [RDP-NWT19] → [xLOUD™] → [オン]または[オフ]を選ぶ。

ご注意

- “xLOUD”機能は、ビデオ、ビデオポッドキャストには効果がありません。

スマートフォンにおすそわけ充電する

「スマートフォンおすそわけ充電」は、外出先でスマートフォンのバッテリー残量が少なくなったとき、別売の専用ケーブル*を使ってウォークマンから充電できる便利な機能です。

- * スマートフォン充電ケーブル(WMC-NWC10)
ご使用方法は、ケーブルの取扱説明書をご確認ください。

電池持続時間について

ウォークマンの設定変更や電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し、より長時間使用できます。設定変更の効果、お買い上げ時の設定、機能による電池持続時間の比較については、④ 119 ページをご覧ください。

ここでは、電池持続時間をより長くする方法をご紹介します。

手動で電源を切る

OPTION/PWR OFF ボタンを長押しすると、画面表示が消えて再生待機状態になり、電池の消耗を抑えることができます。

再生待機状態のまま最長で1日経過すると、自動的に電源が切れ、さらに消費電力を抑えることができます。

設定を変える

以下のように設定を変更することで、電池持続時間を長くできます。

- 音楽再生中の画面表示をなるべく出さない設定にする。
 - － [画面オフタイマー] を [15秒] (最も短い設定) に設定する。
 - － [歌詞表示] を [オン (再生画面常時表示)] 以外に設定する。
 - － [カラオケ・語学・ダンスモード] を [カラオケ (効果強)] または [カラオケ (効果弱)] 以外に設定する。
- [輝度設定] の設定値を低くする。

- [DSEE HX]、[ハイレゾ音響設定]、[ClearAudio+]、[イコライザー]、[VPT(サラウンド)]、[クリアステレオ]、[ダイナミックノーマライザー]、[DPC(スピードコントロール)]、ヘッドホンの[Clear Phase™]を[オフ]にする。

Bluetooth接続を切断する

Bluetooth機能は無線によるデータ送信技術のため、電池の消耗が早くなります。

Bluetooth機能を使用しないときは、忘れずにBluetooth接続を切断したり、Bluetoothヘッドホンを使わず、同梱のヘッドホンを使用すれば、電池持続時間を長くすることができます。

ノイズキャンセリング機能をこまめにオフにする

ノイズキャンセリング機能をオンにしていると、電池の消耗が早くなります。

曲を聞いていないときなどは、こまめにノイズキャンセリング機能をオフにすることで、電池持続時間を長くすることができます。

データのファイル形式やビットレートを変える

曲やビデオ、写真のフォーマットやビットレートによっても、電池の持続時間(連続再生時間)が変わります。充電時間や使用時間は🔗 118、119 ページをご覧ください。

安全のために



下記の注意事項を守らないと、**火災・感電・破裂**などにより**死亡や大けが**などの人身事故が生じます。

火の中に入れない。



禁止

火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。



禁止

本製品の各端子のそばにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かない。



禁止

本製品の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡や大けが**など人身事故の原因となります。

充電式電池が液漏れしたときは

充電式電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。

液が本製品内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

運転中は使用しない。

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。



禁止



周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない。

踏切りや駅のホーム、車の通る道、工場現場などでは、周囲の音が聞こえないと危険です。そのような場所では使用しないでください。事故やけがの原因となります。



禁止

内部に水や異物を入れな

い。

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、本製品に接続しているものをはずし、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。



禁止



雨、水がかかる場所、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では使用しない。

上記のような場所で使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止



分解や改造をしない。

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理は、
お買い上げ店または
ソニーサービスステーションにご依頼ください。



分解禁止

乳幼児の手の届かないところに置く。

イヤピースなど小さな部品は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるため、ただちに医師にご相談ください。



禁止

本製品を布団などでおおった状態で使用しない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



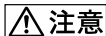
禁止

雷が鳴り出したら、本体やUSBケーブルに触れない。

感電の原因となることがあります。



禁止



注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に影響を与えるおそれがあります。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止



はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音がでて、耳をいためることがあります。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。ボリュームは徐々に上げましょう。



禁止

肌に合わないと感じたときは使用しない。



禁止

肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。

使用中に気分が悪くなった場合は使用を中止する。



注意

本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。

本製品を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う。



指示

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を医療機器の近くで使用しない。

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使用しないでください。



禁止

本製品を心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す。

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



注意

本製品を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使用しない。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

本製品に強い衝撃を与えない。

本製品には強い衝撃や過度の力を与えないでください。モデルによっては、画面表示部にガラス素材を採用しています。

欠けや割れが発生するとけがの原因になります。その場合には直ちに使用を中止し、破損部には手を触れないようご注意ください。



禁止

不安定な場所に置かない。

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かないでください。落下してけがの原因となることがあります。



禁止



本製品は、国内専用です。

海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。



指示

使用上のご注意

無線の周波数について

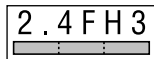
本製品が使用している周波数は、他の無線機器でも使用していることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

2.4 GHz機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。



この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は30 mです。

充電について

- 充電時間は電池の使用状態により異なります。

本製品の取り扱いについて

- 落したり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。本製品の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かないでください。
 - ー 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
 - ー ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内(とくに夏季)
 - ー ホコリの多いところ
 - ー ぐらついた台の上や傾いたところ
 - ー 振動の多いところ
 - ー 風呂場など、湿気の多いところ
 - ー 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本製品の電源を切って、本製品をラジオやテレビから離してください。

- 同梱のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口(☎ 最終ページ)に相談してください。

- 本製品をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。

- ー 本製品をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。



- ー 本製品にヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。



- 水がかからないようご注意ください。本製品は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。

ー 洗面所などでポケットに入れての使用
身体をかがめたときなどに落として水濡れの原因となる場合があります。

ー 雨や雪、湿度の多い場所での使用

ー 汗をかく状況での使用
濡れた手で触ったり、汗をかいだ衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。

- ヘッドホンを本製品から外すときは、ヘッドホンのプラグを持って外してください。コードを持って引っ張ると断線の原因となる場合があります。
- イヤーピースは長期の使用／保存により劣化する恐れがあります。



- ヘッドホンを付けたまま寝ないでください。寝ているあいだにヘッドホンのコードが首にかからり、窒息の原因となることがあります。

ご使用について

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながら使用しないでください。特にノイズキャンセリング機能は周囲の音を遮断しますので、警告音なども聞こえにくくなります。運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。
- ストラップ(別売)を付けてご使用する場合は、ストラップが引っかかると危険ですので、ご注意ください。また、振り回すと人にぶつかることもあり危険ですので、ご注意ください。
- 飛行機内で使用する際は、離着陸時など、機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。

- 耳に差し込むタイプのヘッドホンは、イヤークラス部分の密閉度が高いため、イヤークラスが耳に強く押しこまれたり、急に外れたりすると、鼓膜などを傷めるおそれがあります。使用後は、イヤークラス部分を上下に動かして、ゆっくり取り外してください。
- 本製品を寒い場所から急に暖かいところに持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本製品の表面や内部に結露が生じることがあります。結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。結露が生じたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。
- 本製品をUSB接続したまま、パソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本製品が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本製品を取り外してから行ってください。

- Media Goの使用中(CD録音中、曲の取り込み中、本製品への転送処理中)にパソコンがスリープ/スタンバイ/休止状態へ移行すると、データが失われたり、Media Goが正常に復帰しない場合がありますのでご注意ください。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じるがありますが、これは本製品の故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがあります。異常ではありません。

microSDカードのご使用について

- 初期化は必ずウォークマンで行ってください。パソコンなどウォークマン以外の機器を用いて初期化したmicroSDカードは、ウォークマンでの動作を保証しません。
- すでにデータが書き込まれているmicroSDカードを初期化すると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。
- microSDカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 転送／再生／初期化中は、microSDカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- アクセスランプが点滅している間はmicroSDカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- 対応仕様のmicroSDカードでも、すべてのmicroSDカードでの動作を保証するものではありません。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
読み込み中、書き込み中にmicroSDカードを取り出したり、ウォークマンの電源を切った場合
静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- お客様の記録したデータの破損（消滅）については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属などを触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。

- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所ではお使いにならないでください。

使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)

湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

- お使いの際は正しい挿入方向をご確認ください。
- microSDカードスロットの挿入口にはmicroSDカード以外のものは挿入しないでください。
- ラベルなどを貼らないでください。
microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。

本製品を廃棄するときのご注意



Li-ion

本製品に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。

(「ソニーの相談窓口」の連絡先は📞「お問い合わせ窓口のご案内」に記載されています。)

お手入れ

本製品表面の汚れは

- 柔らかい布(市販のめがね拭きなど)で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。

- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
- 内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

イヤークラスのお手入れについて

ヘッドホンからイヤークラスを外し、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよく拭いてからご使用ください。

同梱のソフトウェアについてのご注意

- 権利者の許諾を得ることなく、本製品同梱のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
 - 同梱のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
 - 同梱のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
 - 同梱のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
 - 同梱していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- 本製品のメモリーを初期化すると、本製品に転送した曲、ビデオ、写真のデータだけでなく、お買い上げ時にあらかじめインストールされているサンプルデータおよびソフトウェアのすべてが消去されます。メモリー初期化を行う前に内容を確認し、必要なデータはパソコンに保存してください。

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽(歌詞ピタ(データ)含む)、ビデオ、写真データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。

主な仕様

再生できるファイルの種類

ミュージック (ポッドキャストを含む)		
オーディオ フォーマット	MP3	拡張子: .mp3 ビットレート: 32 kbps ~ 320 kbps (可変ビットレート (VBR) 対応) サンプリング周波数*1: 32、44.1、48 kHz
	WMA*2	拡張子: .wma ビットレート: 32 kbps ~ 192 kbps (可変ビットレート (VBR) 対応) サンプリング周波数*1: 44.1 kHz
	ATRAC*3	拡張子: .oma ビットレート: 48 kbps ~ 352 kbps (66/105/132 kbpsはATRAC3) サンプリング周波数*1: 44.1 kHz
	ATRAC Advanced Lossless*3*4	拡張子: .oma ビットレート: 64 kbps ~ 352 kbps (132 kbpsはATRAC3 base layer) サンプリング周波数*1: 44.1 kHz
	FLAC	拡張子: .flac 量子化ビット数: 16 bit、24 bit サンプリング周波数*1: 8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、 48、88.2、96、176.4、192 kHz

リニアPCM	拡張子: .wav 量子化ビット数: 16 bit, 24 bit サンプル周波数 ^{*1} : 8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 kHz
AAC ^{*2*3}	拡張子: .mp4, .m4a, .3gp ビットレート: 16 kbps ~ 320 kbps (可変ビットレート (VBR) 対応) ^{*5} サンプル周波数 ^{*1} : 8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 kHz
HE-AAC ^{*3}	拡張子: .mp4, .m4a, .3gp ビットレート: 32 kbps ~ 144 kbps (可変ビットレート (VBR) 対応) ^{*5} サンプル周波数 ^{*1} : 8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 kHz
Apple Lossless	拡張子: .m4a 量子化ビット数: 16 bit, 24 bit サンプル周波数 ^{*1} : 8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 kHz
AIFF	拡張子: .aif, .aiff, .afc, .aifc 量子化ビット数: 16 bit, 24 bit サンプル周波数 ^{*1} : 8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 kHz

ビデオ(ポッドキャストを含む)* ⁶		
ビデオフォーマット	AVC (H.264/AVC)* ⁷	ファイルフォーマット:MP4ファイルフォーマット、メモリースティック ビデオフォーマット 拡張子:.mp4、.m4v プロファイル:Baseline Profile レベル:1.2、1.3、2、2.1、2.2、3 ビットレート:最大10 Mbps フレーム数:最大30 fps 解像度:最大 720×480* ⁸
	MPEG-4* ⁷	ファイルフォーマット:MP4ファイルフォーマット、メモリースティック ビデオフォーマット 拡張子:.mp4、.m4v プロファイル:Simple Profile ビットレート:最大6 Mbps フレーム数:最大30 fps 解像度:最大 720×480* ⁸
	Windows Media Video 9* ⁷	ファイルフォーマット:ASFファイルフォーマット 拡張子:.wmv ビットレート:最大6 Mbps フレーム数:最大30 fps 解像度:最大 720×480* ⁸

オーディオ フォーマット	AAC-LC (AVC、MPEG-4)	チャンネル数:最大2 チャンネル サンプリング周波数:24、32、44.1、48 kHz ビットレート:1チャンネルあたり最大 288 kbps
	WMA (Windows Media Video 9)	ビットレート:32 kbps ~ 192 kbps (可変ビットレート (VBR) 対応) サンプリング周波数 ^{*1} :44.1 kHz
フォト ^{*9}		
フォトフォー マット	JPEG	DCF 2.0/Exif 2.21のファイルフォーマットに準拠 拡張子: .jpg JPEG (Baseline) 画素数:最大 4,096×4,096 ピクセル(1,600万画素)

^{*1} すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

^{*2} 著作権保護されたファイルは再生できません。

^{*3} 著作権保護されたファイルはmicroSDカードには転送できません。

^{*4} ATRAC Advanced Losslessのビットレート表記は、ATRAC対応機器・メディアに高速転送可能なコンテンツのビットレートを意味します。

^{*5} サンプリング周波数によっては規格外および保証外の数値も含まれます。

^{*6} ブルーレイディスク/DVDレコーダーの「おでかけ転送」機能に対応しています。

ただし、microSDカードには転送できません。

(対応機器について詳しくは、ウォークマンサポートのホームページをご覧ください。)

*⁷ 4 GB以上のファイルは再生することができません。

*⁸ 再生可能な解像度を示すものであって、本製品で表示できるピクセル数を示すものではありません。
本製品のディスプレイでは320×240で表示されます。

*⁹ データの種類によっては表示できないものがあります。

記録できる最大曲数*¹と時間の目安について

本製品に曲のみを転送した場合で計算しています。(1曲4分換算)

最大記録曲数

	NW-A16	NW-A17
	32 GB	64 GB
MP3 128 kbps	7,600曲	15,000曲
リニアPCM 1,411 kbps	690曲	1,400曲
FLAC 96 kHz/24 bit	210曲	400曲
FLAC 192 kHz/24 bit	100曲	200曲

*¹ 本製品では、本体メモリーとmicroSDカードに合計20,000曲を転送し、正常に動作することを確認しています。

最大記録時間

	NW-A16	NW-A17
	32 GB	64 GB
MP3 128 kbps	約480時間0分	約1,000時間0分
リニアPCM 1,411 kbps	約43時間20分	約86時間40分
FLAC 96 kHz/24 bit	約13時間20分	約26時間40分
FLAC 192 kHz/24 bit	約6時間40分	約13時間20分

記録できるビデオファイルの最大時間の目安について

本製品にビデオのみを転送した場合で計算しています。使用状況によっては増減する可能性があります。

	NW-A16	NW-A17
	32 GB	64 GB
映像のビットレート:384 kbps 音声のビットレート:128 kbps	約108時間40分	約228時間0分

ディスプレイ

サイズ／解像度:2.2型(5.6 cm)、QVGA(320×240ドット)

パネル種類:TFTカラー液晶

インターフェース

USB:Hi-speed USB(USB 2.0準拠)

ヘッドホン:ステレオミニ

WM-PORT:マルチ接続端子22ピン

外部メモリー*1

microSD(～2 GB)

microSDHC(～32 GB)

microSDXC(64 GB以上)

*1 最新の動作確認済microSDカードについては、サポートホームページでご確認ください。

FMラジオ

放送受信周波数:76.0 MHz ～ 108.0 MHz

アンテナ:ヘッドホンコードアンテナ

Bluetooth

- 通信方式:Bluetooth標準規格 Ver 2.1+EDR*1
- 使用周波数帯域:2.4 GHz帯(2.4000 GHz - 2.4835 GHz)
- 変調方式:FHSS
- 対応Bluetoothプロファイル*2
 - － A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
 - － AVRCP(Audio Video Remote Control Profile)
 - － OPP(Object Push Profile)
- 対応コーデック*3:SBC*4/aptX

*1 Enhanced Data Rateの略

*2 Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
お使いのウォークマンが対応するBluetoothプロファイルのバージョンを確認するには、ホームメニュー ➡  (各種設定) ➡ [Bluetooth設定] ➡ [Bluetooth情報]を選んでください。

*3 音声圧縮変換方式のこと

*4 Subband Codecの略

ヘッドホン出力

周波数特性: 20 Hz ~ 40,000 Hz

高音質化技術

- デジタルノイズキャンセリング機能 (総騒音抑制量 (TNSR) : 17 dB *¹)
- ClearAudio+
- DSEE HX
- イコライザー
- VPT (サラウンド)
- クリアステレオ
- ダイナミックノーマライザー
- "Clear Phase"
- "xLOUD"
- 13.5 mm EXヘッドホン

*¹ 当社規定の航空機シミュレートノイズ下における、[環境選択]を[航空機]設定時とヘッドホン非装着時との比較による値。総騒音抑制量(当社測定法による)約17 dBは音のエネルギーで約98.0%の騒音低減に相当。

電源

内蔵リチウムイオン充電式電池使用

USB電源(同梱のUSBケーブルを接続して、パソコンから供給)

充電時間

パソコンのUSBコネクタから充電の場合

約4時間(満充電)、約2.5時間(約80%まで充電)

電池持続時間について

設定により電池の持続時間は異なります。持続時間は以下の各設定にして連続再生をしたときの目安です。再生待機状態でもわずかながら電池を消耗しているため、再生待機状態が長時間あった場合には持続時間は短くなります。また、音量や使用状況、周囲の温度によっても持続時間は異なります。

ミュージック	ノイズキャンセリング機能オン	ノイズキャンセリング機能オフ	Bluetooth機能オン
MP3 128 kbps	約43時間	約50時間	約23時間
リニアPCM 1,411 kbps	約44時間	約51時間	約23時間
FLAC 96 kHz/24 bit	約35時間	約40時間	約16時間
FLAC 192 kHz/24 bit	約27時間	約30時間	約11時間
ビデオ	ノイズキャンセリング機能オン	ノイズキャンセリング機能オフ	Bluetooth機能オン
MPEG-4 384 kbps	約13時間	約14時間	約10時間
FMラジオ	ノイズキャンセリング機能オン	ノイズキャンセリング機能オフ	
放送受信時	約20時間	約22時間	
ダイレクト録音			
MP3 128 kbps	約17時間		

ウォークマンの設定と電池持続時間について

設定		お買い上げ時の設定	電池持続時間での設定
共通設定	画面オフタイマー* ¹	[30秒]	[30秒]
	輝度設定* ²	[3]	[3]
	いたわり充電* ³	[オフ]	[オフ]
	NFC設定	[オン]	[オン]
音楽設定／各種設定	DSEE HX* ⁴	[オフ]	[オフ]
	ハイレゾ音響設定* ^{5*6}	[オフ(ソースダイレクト)]	[オフ(ソースダイレクト)]
	ClearAudio+* ⁷	[オフ]	[オフ]
	イコライザー* ⁸	[オフ]	[オフ]
	VPT(サラウンド)* ⁸	[オフ]	[オフ]
	クリアステレオ* ⁸	[オフ]	[オフ]
	ダイナミックノーマライザー* ⁸	[オフ]	[オフ]
	"Clear Phase"ヘッドホン* ⁸	[オフ]	[オフ]
	カラオケ・語学・ダンスモード* ⁹	[オフ]	[オフ]
	DPC(スピードコントロール)* ¹⁰	[オフ]	[オフ]

設定		お買い上げ時の設定	電池持続時間での設定
Bluetooth設定	ワイヤレス再生品質 ^{*11}	[接続優先]	[接続優先]

*1 [オフ]に設定している場合、[30秒]の場合と比較して、約70%電池持続時間が短くなります。

*2 [5]に設定している場合、[3]の場合と比較して、約45%電池持続時間が短くなります。

*3 [オン]に設定している場合、[オフ]の場合と比較して、約10%電池持続時間が短くなります。

*4 [オン]に設定している場合、[オフ]の場合と比較して、約40%電池持続時間が短くなります。

*5 ハイレゾ音源を再生して[オン]に設定している場合、[オフ]の場合と比較して、約45%電池持続時間が短くなります。

*6 ハイレゾ音源を再生して[オン]の設定で、イコライザー[オフ]以外、VPT[オフ]以外、クリアステレオ[オン]、ダイナミックノーマライザー[オン]に設定している場合、すべて[オフ]の場合と比較して、約55%電池持続時間が短くなります。

*7 [オン]に設定している場合、[オフ]の場合と比較して、約30%電池持続時間が短くなります。

*8 イコライザー[オフ]以外、VPT[オフ]以外、クリアステレオ[オン]、ダイナミックノーマライザー[オン]に設定している場合、すべて[オフ]の場合と比較して、約30%電池持続時間が短くなります。

*9 [カラオケ(効果強)]もしくは[カラオケ(効果弱)]に設定している場合、[オフ]の場合と比較して、約75%電池持続時間が短くなります。

*10 [×2.0]に設定している場合、[オフ]の場合と比較して、約45%電池持続時間が短くなります。

*11 [音質優先]に設定している場合、[接続優先]の場合と比較して、約10%電池持続時間が短くなります。

動作温度

5 °C ~ 35 °C

外形寸法

最大突起部含まない寸法(幅／高さ／奥行き)：

約43.6 mm × 約109 mm × 約8.7 mm

最大外形寸法(幅／高さ／奥行き)：

約44.4 mm × 約109.1 mm × 約9.1 mm

質量

約66 g

容量

NW-A16: 32 GB

NW-A17: 64 GB

本製品の動作環境

- パソコン
 - Windows Vista[®] Home Basic (Service Pack 2以降)
 - Windows Vista[®] Home Premium (Service Pack 2以降)
 - Windows Vista[®] Business (Service Pack 2以降)
 - Windows Vista[®] Ultimate (Service Pack 2以降)
 - Windows[®] 7 Starter (Service Pack 1以降)
 - Windows[®] 7 Home Premium (Service Pack 1以降)
 - Windows[®] 7 Professional (Service Pack 1以降)
 - Windows[®] 7 Ultimate (Service Pack 1以降)
 - Windows[®] 8
 - Windows[®] 8 Pro
 - Windows[®] 8.1
 - Windows[®] 8.1 Pro
 - Mac OS[®] X v10.6以降

標準インストールOSのみサポート。

Windows VistaおよびWindows 7の「XP互換モード」には非対応。

- CPU:1 GHz以上(パソコンでビデオ再生するには2.6 GHz以上推奨)
- メモリー:1 GB以上(Windows 8 64ビットは2 GB以上推奨)
- ハードディスクドライブ(HDD)／ソリッドステートドライブ(SSD):空き容量600 MB以上

音楽CDの楽曲を取り込む場合にはCD-ROMドライブが必要です。

- Internet Explorer Ver. 7以上
- インターネット接続環境
Gracenoteサービスや音楽配信サービスなどのWebサービスを利用する場合にインターネットへの接続が必要です。

以下のシステム環境での動作保証はいたしません。

- 自作パソコン
- 標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
- マルチブート環境

上記システムリクワイアメントに合致した場合においても、すべてのコンピュータに対して動作保証するものではありません。

本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ライセンスおよび商標について

- 商標権の帰属、法規などに関する情報は、ソフトウェアをインストールすると「重要なお知らせ」で確認できます。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- 本製品はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
- 本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているMPEG-4 VISUAL PATENT

PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 VISUAL規格に合致したビデオ信号（以下、MPEG-4 VISUAL VIDEOといいます）にエンコードすること。

(ii) MPEG-4 VISUAL VIDEO（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLCのホームページ([HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM))をご参照下さい。

- 本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っている AVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといいます)にエンコードすること。

(ii) AVC VIDEO(消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。

- 本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っている VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、VC-1規格に合致したビデオ信号(以下、VC-1 VIDEOといいます)にエンコードすること。

(ii) VC-1 VIDEO(消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。

- この製品は “Embedded Memory with Playback and Recording Function System” (以下“EMPR^(*)”)規格に準拠して製造されています。コンテンツ保護方式として “MagicGate Type-R for Secure Video Recording for EMPR”を利用しています。
(*) “EMPR” は、ソニー株式会社が開発した著作権保護に対応したシステムの規格名であり、“MagicGate Type-R for Secure Video Recording for EMPR”はDpa(社団法人 デジタル放送推進協会)からデジタル放送記録時のコンテンツ保護方式として認可を得ています。

- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation.
Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

困ったときは

「症状から調べる」(㊦ 129 ページ)の各項目で調べる。

充電する。
充電すると問題が解決することがあります。

ペンやクリップなどでRESETボタンを押す。

本製品を安全にリセットするには、RESETボタンを押す前に、曲やビデオなどが再生されていないことを確認してください。



RESETボタン

パソコンを利用できる場合

- ヘルプガイドで調べる (㊦ 155 ページ)
パソコンを利用した操作について、更に詳しい説明があります。
- Media Goのヘルプで調べる
Media Goについての操作方法は、Media Goのヘルプで調べることができます。
- ウォークマンサポートのホームページで調べる (㊦ 156 ページ)
インターネットに接続できる環境の場合、サポートホームページで最新情報を調べることができます。

上記を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口 (㊦ 最終ページ) またはお買い上げ店に相談する。

症状から調べる

ウォークマンの操作

Q ウォークマンが動作しない(ボタン操作に反応しない)、または電源が入らない

- 一度に多量の音楽などのコンテンツをウォークマンに転送した。
 - ウォークマンでのデータベース構築に時間がかかる場合があります。そのため、ウォークマンをパソコンから取り外してから操作できるようになるまでに、約10分以上かかる場合があります。
- HOLDスイッチがHOLD(ホールド)の位置になっている。
 - 右側面にあるHOLDスイッチを逆の位置にスライドしてください(☞ 30 ページ)。
- 結露している。
 - そのまま約2、3時間おいてください。
- 電池の残量が少ない、または消耗している。
 - ウォークマンを起動中のパソコンに接続するなどして、十分に充電してください(☞ 13 ページ)。
 - 充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押してウォークマンをリセットしてください(☞ 128 ページ)。
- ウォークマンをUSBケーブルでパソコンと接続している。
 - パソコンと接続中はウォークマンを操作できません。接続を外してください。

Q ウォークマンの動作がおかしい

- RESETボタンを押してウォークマンをリセットしてください(☞ 128 ページ)。

Q 自動的に電源が切れて電源が入った

- 正常に動作しなくなったときに、ウォークマンでは自動的に電源を入れ直します。

Q 表示が消える

- [画面オフタイマー]で設定した時間内に操作しなかった。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。
→ いずれかのボタンを押してください。
- ビデオ設定の[画面オフ設定]を[ホールド時画面オフ]に設定している。
→ [画面オフ設定]を[常時画面オン]に設定してください。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

Q 日付と時刻がリセットされる

- 電池を使いきった状態でしばらく放置すると、日付と時刻がリセットされる場合がありますが、故障ではありません。**Full**が表示されるまで充電し(☞ 13 ページ)、日付と時刻を設定し直してください(☞ 25 ページ)。

音声について

Q 再生音が出ない

- 音量がゼロになっている。
→ 音量を上げてください(☞ 28 ページ)。
- ヘッドホンがヘッドホンジャックにしっかり差し込まれていない。
→ 正しく接続されていないと再生音が正常に聞こえません。「カチッ」と音がするまで差し込んでください(☞ 27 ページ)。

- ヘッドホンのプラグが汚れている。
→ 乾いた布でプラグの汚れを拭きとってください。
- ヘッドホンから再生音が出ない。
→ Bluetooth接続している場合は、ヘッドホンジャックから音は出ません。
- 上記で解決しない場合は、ウォークマンのRESETボタンを押して、リセットしてください (㊦ 128 ページ)。

Q 再生していたら急に音が止まった

- Bluetoothオーディオ機器との接続状態に問題が起きたため、再生が止まった。
→ Bluetoothオーディオ機器との接続状態を確認してください。

Q 雑音が入る

- 静かな場所でノイズキャンセリング機能をオンにしている。
→ 静かな場所や周囲の騒音の種類によってはノイズが大きくなると感じる場合があります。その際はノイズキャンセリング機能をオフにしてください (㊦ 65 ページ)。なお、同梱のヘッドホンは、屋外や電車内など騒音の多い場所でノイズキャンセリング効果を最大限に生かすために、ヘッドホンの音圧感度を大幅に高めています。そのため、ノイズキャンセリング機能をオフにしても静かな場所ではかすかなホワイトノイズが聞こえる場合があります。
- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。
→ 携帯電話などをウォークマンから離して使用してください。
- ヘッドホンのプラグが汚れている。
→ 乾いた布でプラグの汚れを拭きとってください。

Q 再生音が大きくなり、または再生音を大きくしても音が小さい

- [AVLS(音量制限)]が[オン]に設定されている。
→ AVLS設定を解除してください。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。
- Bluetooth接続で音声聞いている。
→ Bluetoothオーディオ機器の音量を上げてください。

Q 右チャンネルから音が出ない、または右チャンネルの音が左右両方のヘッドホンから聞こえる

- ヘッドホンがヘッドホンジャックにしっかり差し込まれていない。
→ 正しく接続されていないと再生音が正常に聞こえません。「カチッ」と音がするまで差し込んでください(27 ページ)。

Q 録音した曲がヘッドホンの左側からしか聞こえない

- モノラル機器から録音した。
→ 録音用ケーブル(別売)はステレオミニプラグのため、モノラル機器のヘッドホン端子につなぐと、左チャンネルにしか録音されないことがあります。

Q ノイズキャンセリング機能をオンにしてバスや電車で音楽などを聞いていると、音が途切れる(音飛びする)

- バスや電車内でノイズキャンセリング機能をオンにして曲などを聞いていると、着座位置によっては、走行ノイズ以外の大きな振動(例えば、車が段差を乗り越えたときの振動など)がヘッドホンユニットに内蔵されているマイクに伝わり、音が途切れたように聞こえる場合がある。

- この現象は、[ノイズキャンセル調整]の値を小さくすることで改善されます。
[ノイズキャンセル調整]の値を小さくしてご使用ください。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

Q ClearAudio+機能、イコライザー機能、VPT(サラウンド)機能、ダイナミックノーマライザー機能の効果が感じられない

- お使いのヘッドホンやお聞きの音楽により効果を感じられない場合があります。
- Bluetooth接続でお聞きの場合、[Bluetooth設定]▶[サウンドエフェクト]設定が[オン]の時のみ有効です。詳しくはヘルプガイドをご覧ください。
- ハイレゾコンテンツを再生する場合は効果を感じられないことがあります。詳しくは、「ハイレゾ音源を楽しむ」(㊦ 40 ページ)をご覧ください。

Q クリアステレオ機能の効果が感じられない

- クリアステレオ機能は、同梱のヘッドホンを利用している場合のみ有効です。
- クリアステレオ機能は、Bluetooth接続中は無効です。
- ハイレゾコンテンツを再生する場合は効果を感じられないことがあります。詳しくは、「ハイレゾ音源を楽しむ」(㊦ 40 ページ)をご覧ください。

Q ヘッドホンの“Clear Phase”機能の効果が感じられない

- ヘッドホンの“Clear Phase”機能は、同梱のヘッドホンまたは別売のMDR-NWNC33/MDR-NWNC200を使用している場合のみ有効です。
- ハイレゾコンテンツを再生する場合は効果を感じられないことがあります。詳しくは、「ハイレゾ音源を楽しむ」(㊦ 40 ページ)をご覧ください。

Q スピーカーの“Clear Phase”機能、“xLOUD”機能の効果が感じられない

- 別売のスピーカー RDP-NWT19を使用している場合のみ有効です。
- ハイレゾコンテンツを再生する場合は効果を感じられないことがあります。詳しくは、「ハイレゾ音源を楽しむ」(㊦ 40 ページ)をご覧ください。

ノイズキャンセリングについて

Q ノイズキャンセリング効果が得られない

- ノイズキャンセリング機能をオフにしている。
→ [ノイズキャンセルオン/オフ]を[オン]にしてください(㊦ 65 ページ)。
- 同梱のヘッドホンまたは対象のヘッドホンを装着していない。
→ 同梱のヘッドホンまたは別売のMDR-NWNC33/MDR-NWNC200を使用してください。
- [ヘッドホン選択]の設定が実際に使用しているヘッドホンと異なっている。
→ お使いのヘッドホンを正しく選択してください(㊦ 91 ページ)。
- ヘッドホンを正しく装着していない。
→ イヤーピースを交換したり、おさまりの良い位置にするなど、ぴったりと耳に装着させるようにしてください(㊦ 12 ページ)。イヤーピースが外れて耳に残らないよう、イヤーピースを交換する際には、ヘッドホンにしっかり取り付けてください。
- ノイズキャンセリング調整が適切に設定されていない可能性がある。
→ ウォークマンは、対象のヘッドホンでノイズキャンセリング効果が最も得られるようにあらかじめ設定されています。耳の形状や使用環境に合わせてノイズキャンセリング調整をすることで、さらに効果が得られる場合があります。ノイズキャンセリングの調整をし直してください(㊦ 69 ページ)。

- 静かな場所で使用している。
 - ➔ 静かな場所や、周囲の騒音の種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられないことがあります。
- [環境選択]で設定しているデジタルフィルターの種類が周囲の環境と合っていない。
 - ➔ 周囲の環境に合わせて[環境選択]の設定を選んでください(☞ 69 ページ)。

Q 同梱のヘッドホン以外で、ウォークマンのノイズキャンセリング機能を使用したい

- 同梱のヘッドホンまたは別売のノイズキャンセリング機能対応ヘッドホン以外では使用できません。
- 上記以外を使っているときには、ノイズキャンセリング機能を[オン]にしても、ノイズキャンセリング機能は動きません。

電源

Q 充電できない

- 機器が正しく認識されていない。
 - ➔ USBケーブルをいったん外して、接続し直してください。
 - ➔ 電池残量が不足しているときに接続すると、認識されるまでに数分必要です。約10分後に認識するか確認してください。
 - ➔ 同梱のUSBケーブルを使用してください。
 - ➔ 別のUSBポートに差し直してください。

- 5℃～35℃の範囲外の環境で充電している。が表示されている間は保護機能が働いているため、充電できない。
→ 5℃～35℃の環境で充電してください。
- パソコンの電源が入っていない。
→ パソコンの電源を入れてください。
- パソコンがスタンバイ(スリープ)、休止状態に入っている。
→ パソコンのスタンバイ(スリープ)、休止状態を解除してください。
- ウォークマンに対応していないACアダプターを使用している。
→ ウォークマンに対応するACアダプター(AC-NWUM60など)(別売)を使ってください。
- USBハブを使ってパソコンと接続している。
→ USBハブにて拡張されたUSBポートは、特別に動作保証された機種以外での動作の保証はいたしません。
- ウォークマンを1年以上使用していなかった。
→ お使いの環境にもよりますが、電池の劣化の可能性があります。ソニーの相談窓口にお問い合わせください(☎ 最終ページ)。
- 上記に当てはまらない場合は、ウォークマンのRESETボタンを押してからUSB接続をし直してください(☎ 128 ページ)。

Q 電池の持続時間が短い

- 5℃以下の環境で使用している。
→ 電池の特性によるもので故障ではありません。
- 充電時間が足りない。
→ が表示されるまで充電してください。

- Bluetooth機能を使っている。
 - Bluetooth機能は無線によるデータ送信技術のため、電池の消耗が早くなります。曲を聞かないときはこまめにBluetooth接続を切断したり、Bluetoothヘッドホンを使わず、同梱のヘッドホンを使用することで、電池持続時間を長くすることができます。
- ウォークマンの設定変更や電源管理を適切に行うことで、電池の使用量を節約し長時間使用できます(🔗 96 ページ)。
- ウォークマンを1年以上使用していなかった。
 - お使いの環境にもよりますが、電池の劣化の可能性があります。ソニーの相談窓口にお問い合わせください(🔗 最終ページ)。
- [いたわり充電]を[オン]にしている。
 - [いたわり充電]を[オン]にしていると、充電量が約90%になるため、電池残量表示のはじめの1目盛りが早く消えます。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。
- 電池を十分に充電しても、使える時間がお買い上げ時の半分かくらいになったときは電池が劣化している。
 - 充電可能な回数の目安は約500回です。ソニーの相談窓口にお問い合わせください(🔗 最終ページ)。

Q ウォークマンの電源が自動的に切れた

- ウォークマンは電池の消耗を防ぐために自動的に再生待機状態になる。
 - いずれかのボタンを押すと電源が入ります。

Q 充電がすぐに終わる

- 満充電に近い場合、すぐに充電が終わります。

Q 同じアルバム内に、同じ曲が2つ以上ずつ表示されている

- 本体メモリとmicroSDカードの両方に同じアルバムあるいは曲を転送している。
 - ➔ 本体メモリかmicroSDカードに転送したアルバムあるいは曲を削除してください。(☞ 46 ページ)

Q 転送した音楽／写真／ビデオが再生されない、写真が表示されない

- 電池が消耗している。
 - ➔ 十分に充電してください(☞ 13 ページ)。
 - ➔ 充電しても反応しない場合は、RESETボタンを押してウォークマンをリセットしてください(☞ 128 ページ)。

Q 曲が転送順に表示されない

- 曲は転送順には表示されません。決まった曲順通りにしたい場合は、パソコンを使ってプレイリストを作成し、ウォークマンに転送するか、ウォークマンのブックマーク機能を使ってください。

Q 歌詞が表示されない

- 曲に歌詞情報が付いていない。
 - ➔ 歌詞を表示させるには、パソコンを使って歌詞情報を登録する必要があります。詳しくはヘルプガイドをご覧ください。
- Bluetoothで受信した曲は歌詞が表示されない。
 - ➔ 歌詞を受信してもシステム制約により、[受信した曲]から選んだ曲の歌詞をウォークマンでは表示できません。

Q 曲名やアルバム名などに[□]と表示される

- ウォークマンで表示できない文字が使用されている。
→ 転送元の曲名やアルバム名などをウォークマンで表示可能な別の文字に置き替えて転送し直してください。

Q アルバム名やアーティスト名などに[不明]と表示される

- 曲にアルバム名やアーティスト名情報が付いていません。
→ 転送元の曲にアルバム名やアーティスト名を入力して転送し直してください。録音ケーブルを使って、パソコンを使わずに録音した曲は、いったんMedia Goに取り込んで入力するか、キーパッド KPD-NWU10(別売)を使用して入力できます。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。
→ wavデータは仕様上、曲名やアルバム名、アーティスト名などの情報が付けられません。flac等、情報が付けられる形式に変換し、アルバム名やアーティスト名を入力して転送し直してください。

Q 再生を停止できない

- ウォークマンでは、再生の停止は一時停止になります。▶||ボタンを押すと、||が表示され、再生を一時停止します。

Q コンサートやライブなどのアルバム再生で、曲間で音が途切れる

- 古いバージョンのMedia Goを使ってウォークマンに転送した。
→ ウォークマンの本体メモリー内にあるMedia Goをパソコンにインストールしてから、再度曲を取り込み、ウォークマンに転送し直してください。
- [DPC(スピードコントロール)]が[オフ]以外になっている。
→ [DPC(スピードコントロール)]を[オフ]にしてください(☞ 45 ページ)。

- [カラオケ・語学・ダンスモード]が[カラオケ(効果強)]または[カラオケ(効果弱)]になっている。
→ [カラオケ・語学・ダンスモード]を[オフ]または[語学学習]にしてください(㊦ 52 ページ)。
- “Clear Phase”機能が[オン]になっている。
→ ヘッドホンの“Clear Phase”機能(㊦ 92 ページ)およびスピーカーの“Clear Phase”機能(㊦ 94 ページ)を[オフ]にしてください。
- “xLOUD”機能が[オン]になっている。
→ “xLOUD”機能を[オフ]にしてください(㊦ 94 ページ)。

Q 再生速度が調節できない

- カラオケ機能使用中は再生速度を調整できない。
→ [カラオケ・語学・ダンスモード]を[オフ]または[語学学習]に設定してください(㊦ 52 ページ)。

Q 再生曲のボーカルを抑えることができない

- [カラオケ・語学・ダンスモード]で[カラオケ(効果強)]または[カラオケ(効果弱)]を選んでも、曲自体のエフェクト(音響効果)によって、ボーカル抑制の効果は異なります。そのため、ボーカルがほとんど抑制されなかったり、逆効果になる曲もあります。

録音

Q 録音できない

- 録音時の音量レベルが小さい。
→ オーディオ機器の音量を上げて録音してください。
- アクセサリーによっては、録音入力レベルの切り替えができるものがあります。詳しくは、ウォークマンでの録音に対応したアクセサリー(別売)の取扱説明書をご覧ください。

- 録音が始まっていない。
 - シンクロ録音の場合はウォークマンの▶■ボタンを押しても録音待機の状態になるだけで、音が認識されないと録音は始まりません。オーディオ機器の再生を始めてください。
- ウォークマンでの録音に対応したアクセサリ（別売）を接続していない。
 - ウォークマンでの録音に対応したアクセサリ（別売）を接続してください（㊄ 24 ページ）。
- ウォークマンの空き容量が不足している。
 - 不要な曲を削除してください（㊄ 46 ページ）。
 - 録音した曲をパソコンに取り込んでください。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。
- 1つのフォルダーに録音できる最大曲数を超えている。
 - 録音するフォルダーを変更してください。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。
- 録音元のオーディオ機器と正しく接続されていない。
 - ウォークマンでの録音に対応したアクセサリ（別売）を使って正しく接続してください。
- 録音中にウォークマンの電池残量が少なくなり、電源が切れた。
 - 十分に充電してから録音してください。
- Bluetooth接続中は、曲を録音できない。
 - Bluetooth接続を終了してください。

Q 録音した曲の音量が小さい

- 録音時の音量レベルが小さい。
 - オーディオ機器の音量を上げて録音してください。
 - アクセサリによっては、録音入力レベルの切り替えができるものがあります。詳しくは、ウォークマンでの録音に対応したアクセサリ（別売）の取扱説明書をご覧になって調整してください。

Q 録音中にノイズが出る

- ウォークマンでの録音に対応したアクセサリ（別売）に録音レベル切り替えスイッチがある場合、録音レベル切り替えスイッチが合っていない。
→ 接続しているオーディオ機器に合った位置にしてください。詳しくは、ウォークマンでの録音に対応したアクセサリ（別売）の取扱説明書をご覧ください。

Q 曲のはじめの数秒が録音されない

- [シンクロ録音]で録音をしている場合、ゆっくりフェードインする曲など録音する曲によっては無音検出が働き、正確に曲のはじめを検出できない場合がある。
→ マニュアル録音にして録音してください。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

Q 曲を削除しても録音できる残り時間が増えない

- システム上の制約で、短い曲を何曲か削除しても録音できる残り時間が増えないことがあります。

Q 録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間に一致しない

- システム上の制約により、録音開始時に残りの録音可能時間が数秒程度減ることがあります。

Q 曲が複数の曲に分割されて録音される

- シンクロ録音で自動的に曲が分割されている。
→ シンクロ録音では音声の有無によって自動的に曲を分割します。曲の途中で無音状態が一定時間続く曲はマニュアル録音で録音してください。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

Q 電池の消耗が早い

- 録音中は通常よりも電池の消耗が早くなります。

Q 複数の曲が1曲として録音される

- シンクロ録音で自動的にひとつの曲と認識されている。
 - ➔ シンクロ録音では音声の有無によって自動的に曲を分割します。曲間が短くひとつの曲と認識される場合は、マニュアル録音で録音してください。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

FMラジオ

Q FMラジオ放送が聞けない

- ヘッドホンが接続されていない。
 - ➔ ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。ヘッドホンが接続できないときは、FMラジオ放送を聞くことはできません。
- Bluetooth接続中は、FMラジオを聞けない。
 - ➔ Bluetooth接続を終了し、同梱のヘッドホンを使用してください。

Q FMラジオ放送がよく聞こえない

- 受信している周波数が適切でない。
 - ➔ 放送が最もよく聞こえる周波数を▲／▼ボタンを使い選局してください(📖 60 ページ)。

Q 雑音が多く、音が悪い

- 電波が弱い。
 - 建物や乗り物内では電波が弱い場合があります。窓際に近づくなどして電波の入しやすい場所を選んでください。
- ヘッドホンのコードが伸びていない。
 - ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。できるだけ長く伸ばしてお使いください。
- [モノラル／オート]が[オート]に設定してある場合は、受信感度は受信時の状態によって自動設定される。
 - 受信感度が悪い場合は、[モノラル／オート]を[モノラル]に設定してください(☞ 64 ページ)。
- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。
 - 携帯電話などをウォークマンから離して使用してください。

Bluetooth機能

Q Bluetoothオーディオ機器を登録できない(ペアリングできない)

- ウォークマンとBluetoothオーディオ機器の距離が離れている。
 - Bluetooth接続ができる距離で登録(ペアリング)を行ってください(☞ 74 ページ)。
- 登録(ペアリング)するBluetoothオーディオ機器のプロファイルがウォークマンと異なる。
 - プロファイルが異なる機器との登録(ペアリング)はできません。

Q Bluetooth接続ができない

- 接続するBluetoothオーディオ機器の電源が入っていない。
 - 接続するBluetoothオーディオ機器の電源を入れ、Bluetooth機能が有効になっていることを確認してください。
- Bluetoothオーディオ機器の登録(ペアリング)が失敗したか、完了していない。
 - 登録(ペアリング)をしていないBluetoothオーディオ機器とは接続できません。Bluetoothオーディオ機器を登録(ペアリング)をしてください(☞ 74 ページ)。
- ウォークマンまたは接続するBluetoothオーディオ機器がスリープ状態になっている。
 - ウォークマンまたは接続するBluetoothオーディオ機器のスリープ状態を解除してください。
- 電池残量が少なくなっている、または電池残量がほとんどない。
 - ウォークマンを、起動中のパソコンかACアダプター(別売)で充電してください(☞ 13 ページ)。
- ウォークマンまたは接続するBluetoothオーディオ機器で、設定の初期化やメモリーの初期化などが行われたことにより、登録(ペアリング)情報が削除された。
 - ウォークマンと接続するBluetoothオーディオ機器で登録(ペアリング)し直してください(☞ 74 ページ)。
- Bluetoothオーディオ機器のプロファイルがA2DPに対応していない。
 - Bluetoothオーディオ機器のプロファイルがA2DPに対応しているか確認してください。詳しくは、Bluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- ウォークマンとBluetoothオーディオ機器の距離が離れすぎている。
 - ウォークマンとBluetoothオーディオ機器の距離が遠いと、Bluetooth接続ができなかったり途切れたりすることがあります。ウォークマンとBluetoothオーディオ機器をなるべく離さないでご使用ください。

Q NFCでBluetooth接続ができない

- NFC設定が[オフ]になっている。
 - ホームメニュー  (各種設定) → [共通設定] → [NFC設定] → [オン]の順に選択してください。
- 画面表示が消えている。
 - 画面表示が消えているときは接続できません。画面を表示させてからタッチして接続してください (㊧ 31 ページ)。
- 接続するBluetoothオーディオ機器の電源が入っていない。
 - 接続するBluetoothオーディオ機器の電源を入れ、Bluetooth機能が有効になっていることを確認してください。
- ウォークマンまたは接続するBluetoothオーディオ機器がスリープ状態になっている。
 - ウォークマンまたは接続するBluetoothオーディオ機器のスリープ状態を解除してください。
- 電池残量が少なくなっている、または電池残量がほとんどない。
 - ウォークマンを、起動中のパソコンかACアダプター (別売) で充電してください (㊧ 13 ページ)。
- HOLDスイッチがHOLD (ホールド) の位置になっている。
 - 右側面にあるHOLDスイッチを逆の位置にスライドしてください (㊧ 30 ページ)。
- FM放送を聞いている。
 - FM放送を聞いているときはBluetooth接続ができません。FM放送を終了してください。
- オーディオ機器などから録音をしている。
 - 録音中はBluetooth接続ができません。録音を終了してください。

Q 接続したBluetoothオーディオ機器から音が聞こえない

- 接続したBluetoothオーディオ機器が消音(ミュート)に設定されている。
→ 接続したBluetoothオーディオ機器の消音(ミュート)を解除してください。
- 音量がゼロになっている。
→ 接続したBluetoothオーディオ機器の種類によっては音量を調節できない場合があります。ウォークマンの音量を上げてください。
- 再生が始まっていない。
→ ウォークマンで再生を始めてください(☞ 76 ページ)。
- 接続したBluetoothオーディオ機器の電源が入っていない。
→ 接続したBluetoothオーディオ機器の電源を入れ、Bluetooth機能が有効になっていることを確認してください。
- Bluetooth接続が切断されている。
→ Bluetooth接続を行ってください(☞ 74 ページ)。
- Bluetoothオーディオ機器での再生操作がウォークマンに正しく伝達されていない。
→ 接続しているBluetoothオーディオ機器のプロファイルがAVRCPに対応していない可能性があります。ウォークマン本体で操作してください。

Q 音楽再生中に音が飛ぶ

- ご使用の環境と設定によっては、音が飛ぶことがあります。以下を行うことで、音飛びが少なくなる場合があります。
→ ウォークマンとBluetoothオーディオ機器を近づけてください。
→ [ワイヤレス再生品質]を[接続優先]に設定してください。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

- [DPC(スピードコントロール)]を[オフ]に設定してください(📖 45 ページ)。
- [カラオケ・語学・ダンスモード]を[オフ]に設定してください(📖 53 ページ)。

Q 音量が変わらない

- HOLDスイッチがHOLD(ホールド)の位置になっている。
 - HOLDスイッチを逆の位置にスライドしてください(📖 30 ページ)。
- 接続したBluetoothオーディオ機器が、音量を調節できない機器である。
 - ウォークマンで直接音量を調節してください。

Q 音声はひずむまたは途切れる

- 2.4 GHz帯の周波数を使用する無線、無線LAN、他のBluetoothオーディオ機器または電子レンジなど、電磁波を発生する機器がウォークマンや接続したBluetoothオーディオ機器の近くにある。
 - ウォークマンおよび接続したBluetoothオーディオ機器を、上記の機器から離れた場所で使用してください。
- ウォークマンおよび接続したBluetoothオーディオ機器の間に障害物(金属、人体、壁など)がある。
 - ウォークマンおよび接続したBluetoothオーディオ機器の間から障害物を避ける、または取り除いてください。
- 送信ビットレートがご使用の環境に合っていない。
 - 接続したBluetoothオーディオ機器に送信しているビットレート設定と、ご使用の環境との組み合わせによって、接続状態が不安定になる場合があります。このようなときは、[ワイヤレス再生品質]を[接続優先]に設定してください。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

Q 雑音が入る

- Bluetooth接続が途切れている。
→ Bluetooth接続をいったん切断して、接続し直してください。
- 使用環境によっては雑音が入ることがある。
→ 場所を移動してからBluetooth接続をいったん切断して、接続し直してください。
- 接続状況によっては、片方のチャンネルだけにノイズが出ることがある。
→ Bluetooth接続をいったん切断して、接続し直してください。

Q ビデオの音声が遅れる

- 接続したBluetoothオーディオ機器によっては、音が遅れることがあります。

Q 受信したファイルが表示されない

- 受信したファイルがウォークマンに対応していません。

Q 受信したファイルを削除できない

- 受信したファイルではない。
→ ソフトウェアを使って転送したものはソフトウェアを使って削除してください。Windowsのエクスプローラーを使って転送したものはWindowsのエクスプローラーを使って削除してください。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。
- 受信したファイルがウォークマンに対応してない。
→ ウォークマンに対応していない受信ファイルは、画面には表示されません。対応していない受信ファイルを削除するにはWindowsのエクスプローラーを使って削除するか、受信ファイルをすべて削除してください。詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。

Q 受信した曲のジャケット写真が表示されない

- 曲にアルバムのジャケット写真を登録したソフトウェアによっては、曲をBluetoothで送信した場合に、ジャケット写真は送られない場合があります。

Q パスキーを入力する画面が表示された

- Bluetooth機器によっては、接続時にパスキー入力が必要となることがある。
 - ウォークマンとBluetooth機器の両方で、パスキーを入力してください(☞ 75 ページ)。また、Bluetooth機器のパスキーの入力方法については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

microSDカード

Q ウォークマンでmicroSDカードを認識しない

- 正しく挿入されていない。端子が汚れている。
 - microSDを抜き差ししてください(☞ 16 ~ 20 ページ)。
- microSDカードがウォークマンで認識できない形式でフォーマットされている。
 - microSDカード内のすべてのデータをパソコンにバックアップし、microSDカードをウォークマン上で初期化(フォーマット)してください(☞ 22 ページ)。

Q MediaGoやエクスプローラーからmicroSDカードを認識できない

- [USB接続先メモリー選択]が[本体メモリー]に設定されている。
 - [USB接続先メモリー選択]で[SDカード]を選んでください(☞ 35 ページ)。

- パソコンと接続後ウォークマンにmicroSDカードを挿入している。
 - ウォークマン本体の画面で通信が行われていないことを確認してから、USBケーブルを抜き差ししてください。

Q ウォークマンでmicroSDカードに録音できない／ファイル受信ができない

- [録音先メモリー選択]または[ファイル受信先メモリー選択]が[本体メモリー]に設定されている。
 - [録音先メモリー選択]または[ファイル受信メモリー選択]で、[SDカード]を選んでください (☞ 35 ページ)。

Q Media Goで音楽を転送できない

- 著作権保護された音楽コンテンツは、microSDカードには転送できません。

Q おでかけ転送できない

- microSDカードにはおでかけ転送することができません。

その他

Q PCアプリの操作がわからない

- ヘルプガイドの「困ったときは」-「Q&A」-「パソコンとの接続」をご覧ください。
ヘルプガイドのURLは本書の表紙でご確認ください。

Q 操作時の確認音が鳴らない

- ウォークマンが次の動作中の場合、ビープ音は鳴りません。
 - クレードル(別売)などに接続中
 - Bluetooth接続中

Q ウォークマンが温くなる

- 充電中または充電直後にウォークマンが一時的に温くなることがあります。また、大量のデータを転送した場合も、一時的に温くなる場合があります。しばらく放置してください。

Q ヘッドホンを抜き差しするとノイズが聞こえる

- ヘッドホンの抜き差しはヘッドホンを耳から外して行ってください。音楽を再生した状態や、ノイズキャンセリング機能が働いたままでヘッドホンを抜き差しするとヘッドホンからノイズが発生しますが、故障ではありません。

Q アラームが作動しない

- [アラームのオン/オフ]が[オフ]になっている。
 - [アラームのオン/オフ]を[オン]にしてください(☞ 87 ページ)。
- ウォークマンが次の動作中の場合、アラームは作動しません。
 - パソコンに接続中
 - USB接続モード中
 - [SDカード挿入/取りはずし]実行中
 - Bluetooth接続処理中(情報表示エリアにアラームアイコンは点滅します。)
 - 曲を録音中や録音直後(情報表示エリアにアラームアイコンは点滅します。)

- ー キーパッド KPD-NWU10 (別売) を使用して曲名などを入力中 (情報表示エリアにアラームアイコンが点滅しますが、音は出ません。)

Q アラームが遅れる

- データ削除中またはメモリー初期化中、アラームはデータ削除後またはメモリー初期化後に始まります。

Q スリープタイマーが作動しない

- ウォークマンが次の動作中の場合、設定時間になってもスリープタイマーは作動しません。
Bluetooth接続処理中／曲を録音中／FMラジオでオートプリセット中／おまかせチャンネルで曲を解析中／アラーム作動中／データ削除中
- ウォークマンが次の状態の場合、スリープタイマーはキャンセル (設定解除) されます。
再生待機状態／パソコン接続中

Q スリープタイマーが遅れる

- データ削除中またはメモリー初期化中、スリープタイマーはデータ削除後またはメモリー初期化後に始まります。

Q アラーム曲のかわりにアラーム音が流れる

- アラーム曲に設定した曲が削除された。
→ [アラーム音設定] で他の曲を [アラーム曲] に設定してください (㊄ 88 ページ)。

ウォークマンのメモリーを初期化(フォーマット)するには

下記の手順に従って必ずウォークマン上で行ってください。初期化すると記録されたデータ（お買い上げ時にあらかじめインストールされているサンプルデータを含む）はすべて消去されますので、初期化する前に内容を確認してください。

ウォークマン本体メモリー内のソフトウェアやインストーラーも消去されますので、必要に応じてバックアップしてください。

1 ホームメニュー →  (各種設定) → [共通設定] → [各種初期化] → [本体メモリー初期化] → [はい] → [はい] の順に選ぶ。

最後の[はい]を選ぶと初期化が始まります。初期化が終了すると[メモリーの初期化が完了しました。]と表示されます。

ヘルプガイドで調べる

ヘルプガイドは、WindowsやMacパソコンにインストールし利用することができます。また、表紙の2次元バーコードからもアクセスできます。

- 1 パソコンのデスクトップの  あるいは  (機種名_HelpGuide) アイコンをダブルクリックする。
- 2 ヘルプガイドをクリックする。

ヒント

- インストール方法について、詳しくは別紙「クイックスタートガイド」をご覧ください。

サポートホームページで調べる

パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、ウォークマンサポートのホームページ (<http://www.sony.co.jp/walkman-support/>) でトラブルの解決方法や最新情報などを調べることができます。

サポートホームページを見るには

サポートホームページでは、以下の情報などを見ることができます。

- ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- 製品別サポート情報
- Q&A(よくある問い合わせ情報)
- Media Goのソフトウェアの使いかた
- 重要なお知らせ(サポートからの重要なお知らせ)
- 製品登録(製品登録へのご案内)
- Media Goや「ヘルプガイド」のダウンロードサービス

1 パソコンのデスクトップの  あるいは  (機種名_HelpGuide) アイコンをダブルクリックする。

2 ヘルプガイドをクリックする。

3 [困ったときは]→[困ったときは]→[解決の糸口]→[サポートホームページで調べる]を選択し、URLをクリックする。

ヒント

- インストール方法について、詳しくは別紙「クイックスタートガイド」をご覧ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「困ったときは」(P.128 ページ)をもう一度ご
覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くの
ソニーサービスステーションにご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望に
より有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では、デジタルメディアプレーヤーの補修用
性能部品(製品の機能を維持するために必要な部
品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。
ただし、故障の状況その他の事情により、修理に
代えて製品交換をする場合がありますのでご了承
ください。

索引

【ア】

アラーム	87
イヤピース	12
インストール	15
オートプリセット	61
おすそわけ充電	95
主な仕様	111
音楽	
音楽を再生する	36
音楽を削除する	46
音楽を転送する	23
音響設定	38

【カ】

各部の名前	26
カラオケ機能	52

クイックリプレイ	53
語学学習機能	53

【サ】

再生範囲	44
削除	
曲	46
写真	59
ビデオ	59
サポートホームページ	156
写真	
写真を再生する	57
写真を削除する	59
写真を転送する	23
充電	13
使用メモリー選択	35
ストラップ取り付け口	28
スピーカー選択	93
スリープタイマー	90

【タ】

ダンス機能 55

電源

電源を入れる 31

電源を切る 31

電池

電池残量 14

電池持続時間 96、119

同梱品 11

【ナ】

ノイズキャンセリング 65

【ハ】

ハイレゾ音響設定 40

日付時刻設定 25

ビデオ

ビデオを再生する 57

ビデオを削除する 59

ビデオを転送する 23

ブックマーク 48

プレイモード 43

プレイリスト 51

ペアリング 74

ヘッドホンジャック 27

ヘッドホン選択 91

ヘルプガイド 5、155

ホームメニュー 32

本体メモリーの初期化 154

【マ】

ミュージック 36

【ラ】

録音 24

【A】

A-Bリピート再生 54、56

【B】

BACK/HOMEボタン 27

Bluetooth機能 71

音楽を聞く 76

ファイルを受け取る 82

ファイルを送る 80

【C】

ClearAudio+ 38

“Clear Phase” 92、94

【D】

DPC(スピードコントロール) 45

DSEE HX 42

【F】

FMラジオ放送

FMラジオ放送を聞く 60

自動で放送局を登録する

(オートプリセット) 61

手動で放送局を登録する 62

設定を変更する 63

登録した放送局を解除する 63

【H】

HOLD(ホールド) 30

HOLDスイッチ 28、30

【M】

microSDカード

microSDカードの初期化 22

microSDカードを入れる 16

microSDカードを取り出す 19

【N】

NFC 78

【O】

OPTION/PWR OFFボタン 28

【R】

RESETボタン 28

【V】

VOL+／-ボタン 28

【W】

WM-PORTジャック 27

【X】

“xLOUD” 94

【5】

5方向ボタン 27

お問い合わせの前に

以下の方法ですぐに症状が解決されることがありますので、以下のチェックリストをお試してください。

- ☐ ウォークマンのRESETボタンを押しても、症状が改善しませんでしたか？
- ☐ ウォークマンを充電して、症状が改善しませんでしたか？
- ☐ 「困ったときは」(P.128 ページ)はご覧になりましたか？
- ☐ 同梱の「クイックスタートガイド～パソコンの設定」はご覧になりましたか？
- ☐ パソコンでインターネットをお使いのお客様は、ウォークマンのサポートホームページをご覧になりましたか？

お問い合わせ窓口のご案内

- メールでのお問い合わせは ➡ ウォークマンサポートへ
(<http://www.sony.co.jp/walkman-support/>)
- 電話・FAXでのお問い合わせは ➡ ソニーの相談窓口へ

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- 型名:ウォークマン本体裏面に記載
- 製造(シリアル)番号:ウォークマン本体裏面に記載
- ご相談内容:できるだけ詳しく
- 購入年月日
- お使いのパソコンの情報(パソコンメーカー名、パソコン型名、OSバージョン)
- その他接続にお使いの機器の情報(機器メーカー名、型名)

使いかた相談窓口、修理相談窓口は、裏面をご覧ください。

次ページへ